二〇二四(令和六)年三月

短期大学教育

2024(令和6)年3月

79

地域で活躍する短期大学卒業生

炉料 2024(令和 6)年3月

地域で活躍する短期大学卒業生

日本私立短期大学協会

短期大学教育 79

conte	nts —			
■ 巻頭言	* 地域と連携しともに歩む短期大学として			
	大阪芸術大学短期大学部 学長	塚本	英邦	4
■ 論稿	地域で活躍する帯広大谷短期大学学生・卒業を一地域の宝物を失わないために一	生の現	状	
	帯広大谷短期大学 学長	田中	厚一	6
■ 調査報	是告			
❖「私立	短大卒業生の卒業後の状況調査」からみる短期大学のキャ	リア支援	と進路	支援
	日本私立短期大学協会 就職問題委員会委員長	鈴木	利定	15
	副委員長	柿崎	雅美	
❖ 令和 △	4年度全国学生調査 (第3回試行実施) の結果につい	って		
	文部科学省 高等教育局 高	等教育	企画課	25
■ 短大卒	業生の活躍を Watch!			
	らくのお客様に喜んでいただけるように			
	大手前短期大学 卒業	橋本	華奈	36
繋寄り湯	える保育者になりたい			
		小笠原	姫子	38
* 誇れる	5栄養士を目指して	☆ *	41 12	4.0
W)	広島文化学園短期大学 卒業	髙森	真歩	40
* 1151	1ろな人を支える介護福祉士として 群馬医療福祉大学短期大学部 卒業	白石	莉奈	42
■ 全国]私立短期大学体育大会の廃止について			44
■ 全国	私立短期大学体育大会 第1回~第 53 回の記録			48

58

60

71

■ 地域貢献と教育の機会均等の実現~私立短期大学~

■ 支部別会員校一覧

■ 編集後記



地域と連携しともに歩む短期大学として

日本私立短期大学協会 副会長 大阪芸術大学短期大学部 学長

塚本 英邦

令和5年4月より日本私立短期大学協会副会長および大阪私立短期大学協会会長を拝命し、若輩にも関わらずこのたび機関誌「短期大学教育」巻頭言執筆の機会をいただきまして、大変光栄に存じます。

短期大学制度が発足したのは昭和 25 年 (1950 年) ですが、私ども大阪芸術大学短期大学部の起源である平野英学塾は、それにわずかに先立つ昭和 20 年 (1945 年) に創設されました。その後、浪速外国語学校、浪速外国語専門学校、浪速外国語短期大学、浪速短期大学となり、平成 12 年 (2000 年) に現在の校名に変更して今日に至ります。

歴史をひも解きますと、戦後の焦土と混乱の中にあって、多くの私学の先達が、教育こそ新しい民主国家や自由で明るい社会を建設する原動力であるという認識のもと、様々な教育機関を創設されました。本学の創設者である塚本英世もその一人として、戦後の復興における外国語教育の重要性に着目し、英語学校開設を決意したのです。その一方で、未来を担う子どもたちの保育・幼児教育に注力し、浪速短期大学保育科や附属幼稚園を開設するとともに、幼稚園などに通えない子どもたちのため、日曜学校「青空子ども会」や、進駐軍の払い下げバスで巡回保育を行う「青い鳥幼稚園」などの活動に取り組みました。現在は大阪芸術大学グループとして芸術教育に軸足を置いておりますが、保育・幼児教育の実践とその担い手の養成を通じて地域と社会に貢献することが本学の源流の一つであり、地域に根ざす短期大学として地域とともに歩む姿勢は、今も何ら変わることはありません。

ご承知のように短期大学は、地域に高等教育の機会を提供すると同時に、地域と連携しその発展に寄与するという重要な役割を担っています。本学でも、人的・物的両面にわたる様々な資源を提供して、地域貢献に力を注いできました。キャンパスを構える地域やその近隣の公共団体などから依頼や要請を受け、地域活動を行う機会も増えております。

いくつか活動例をあげますと、たとえば大阪学舎では、大阪市の外郭団体である長居公園や長居植物園の依頼に応え、保育学科の学生たちが季節行事を通じて地域の子どもたちと触れ合う活動を実践しています。また毎年の恒例行事として、キャンパスに地域の親子を招いて多彩なプログラムを行う「キッズワールド」を開催し、好評を博しております。

兵庫県伊丹市の伊丹学舎では、伊丹市教育委員会と連携して、地元中学生が地域で体験学習や 就業体験を学ぶ「伊丹市トライやる・ウィーク」に協力し、毎年中学生の受け入れを行っていま す。また本学の施設設備をいかして、地域の保育園や幼稚園にキャンパス内の芝生広場や体育館 を運動会の会場として提供し、地元の園児や保護者に喜ばれております。

総合芸術短期大学ならではの特色をいかした地域連携の取り組みも少なくありません。デザイン美術学科では、兵庫県阪神北県民局主催の「ひょうご北摂里山アートフォーラム」で里山伐採材を活用した作品を制作・展示したり、兵庫県宝塚市の要請を受けたアートフラッグのプロジェクトで市のイメージアップに一役買うなど、アートの力で地域の魅力を発信し、活性化する活動を行っています。昨年秋には、宝塚市等が主催する「身体障害者補助犬シンポジウム」において、メディア・芸術学科の学生たちが、介助犬の役割を紹介する動画の制作や上映時の生アテレコに取り組みました。

このように、地域と連携して保育や幼児教育、アートやメディア等の学びの成果を存分に発揮しておりますが、学生たちがこうした経験や評価から得るものも多く、教育効果をよりいっそう高める好循環にもつながっています。学生たちが地域を舞台にいきいきと活躍し、成長していく姿には目を見張るものがあります。と同時に、学生たちの地域への愛着も醸成され、さらなる地域活動の原動力となっていくのではないかと期待しております。

さらに、実技・実践教育に重点を置いたカリキュラムを設定する本学では、その集大成である教育研究活動の成果発表・発信の場として、学内外における作品展、舞台公演、演奏会、シンポジウムといった機会も多数設けております。伊丹学舎では、宝塚市・川西市・尼崎市・西宮市など県下の会場で様々な催しを実施してきました。これらは近隣の方々が芸術文化に身近に触れる場ともなり、地域の文化の発展や活性化に寄与するものと確信しています。

今後も地域のプロスポーツチームとの連携協力プロジェクトなどを構想しており、総合芸術短期大学らしい柔軟な発想で多様な取り組みを推進していきたいと考えています。

短期大学を取り巻く状況は大きな変革の時期にあります。その地位や存在感を確立させていくためにも、地域との連携は短期大学それぞれの個性や強みをいかしたもの、また一過性ではなく持続可能なものであるべきと考えます。短期大学と地域がともに手を取り合い、明るく豊かな未来を描き続けてこそ、社会の信頼や支援と教育の質の向上という良い循環が築かれ、相互の発展につながっていく。そう確信し、常に原点に立ち戻る思いで、これからも地道な努力を重ねて参りたいと思います。



地域で活躍する帯広大谷短期大学学生・卒業生の現状一地域の宝物を失わないために一

日本私立短期大学協会 副会長 帯広大谷短期大学 学長

田中 厚一

1. はじめに

短期大学が危機に瀕している。既にいわれて久しい話だ。改めて声高に話すほどではないのだろう。私どもの地元自治体にしても短期大学の人材育成の価値を認識し、奨学金など様々な支援制度で対応してくれている。地域の高校でも進路担当の教員をはじめとして、地元の活性化を願い、進学先に短期大学をとの流れを作ってくれようとしている。企業も地元の若者を最優先に就職支援の輪を広げ、積極的に採用するように動いてくれている。ありがたいことである。しかし、それでも、後述するように短期大学はどんどん窮地に追い込まれているような状況である。教職員や学生、そして卒業生、それぞれの立場で精一杯地元のため、あるいは短期大学存続のためできうることをしてきたはずだが、それも功を奏しない。

次第に、学生が集まらないのは「教職員の努力不足だ」、「授業に魅力がないからだ」、挙句に「学生募集に真剣に取り組まないからだ」との〈頓珍漢〉な批判が横行してしまっている。「努力不足」といわれれば〈はい〉としかいいようがないし、「真剣さが足りない」、といわれれば、どこまでを真剣さと呼ぶのか、判断がつかなくなる。「同じ方向を向いて」、と叫ばれれば、一体どこの組織に全ての関係者が同じ方向を寸分違わずに向いているところがあったのかお聞きしたい、と皮肉の一つもいってみたくなる。すべてが〈負のスパイラル〉に入り込み、そこから抜け出せないのが短期大学の現在の状況だと、まずはいってみたい、そう思う。

今、短期大学は地域から消滅してしまうのではという、極めて危機的な状況にある。日本私立学校振興・共済事業団の統計によると令和4年から5年にかけて全国の短期大学の平均充足率が、77.59%から71.99%と5.6ポイント減じている。さまざまな経営上の境界となる80%には遠く及ばないのが現状である。しかも、92%の短期大学が定員割れ、276校中254校が定員を割っている。尋常な事態ではない。V字回復を成し得たところなどほとんどない。優れた取り組みを成していた数多くの短期大学も厳しい現状に喘いでいる。これでいつまで文部科学省のいう質の高い教育・研究を保つことができるのだろうか。危惧しかない。今や短期大学は「絶滅危惧種」になりつつある。「絶滅危惧種」なら、皆でもっと大事にしてほしい、と皮肉の一つもいってみたいところである。

志願者数等の増減状況

279 校 50, 857 人 53, 436 人	△ 3 校 △ 2,040 从 (△ 4.0 %)
53, 436 人	
	△ 7,447 人 (△13.9%)
51,779 人	△ 7,029 人 (△ 13.6 %)
48, 014 人	△ 6,235 人 (△13.0%)
39, 461 人	△ 4,320 人 (△10.9%)
1. 05 倍	Δ 0.11 ^{#1} / ₂₁
92. 73 %	0. 63 ポイント
82. 19 %	1. 92 ポイント
77. 59 %	△ 5. 60 ^{ポイ} ント
239 校	15 校 (6.3 ^{ポイ})
	48, 014 人 39, 461 人 1. 05 倍 92. 73 % 82. 19 % 77. 59 %

志願倍率=志願者数÷入学定員、合格率=合格者数÷受験者数、歩留率=入学者数÷合格者数、入学定員充足率=入学者数÷入学定員

出典:日本私立学校振興・共済事業団「令和5年度私立大学・短期大学等入学志願動向」

2. 帯広大谷短期大学の現状

北海道には令和5年段階で12校の短期大学(短期大学部を含む)がある。令和4年度で入学定員充足率は71.31%、それが令和5年度となると6.7ポイントも落ち、64.61%となった。(出典参照)。先に述べたように全国平均に比べても7.38ポイントも低くなっている。本学においても事情はあまり変わらない。令和3年度、84.4%だった充足率が4年度77.2%、そして令和5年度に至っては75%まで落ち込んでいる。全道的に見ればまだまだ平均以上の充足率を保っているし、かつ全国の充足平均率よりも高く、健闘しているといっても良いかもしれない。しかしそれもどこまで続けていけるのだろうか。

地域別の動向(短期大学・学校別)

全国を21の地域に区分した。集計は学校所在地ごととした。

	地	域	区	分	年度	集 計 学校数	入学定員 A	志願者数 B	受験者数 C	合格者数 D	入学者数 E	志願倍率 B/A	合格率 D/C	歩留率 E/D	入学定員 充足率 E/A
Г						校	7	Α	人		Α	倍	96	%	96
ı					R4	13	2, 325	2, 275	2, 254	2, 151	1, 658	0. 98	95. 43	77. 08	71. 31
ı		北淮	軸道		R5	12	2, 125	1, 821	1, 812	1, 717	1, 373	0.86	94. 76	79.97	64. 61
L					増減	Δ1	△ 200	△ 454	△ 442	△ 434	△ 285	Δ 0.12	△ 0.67	2. 89	△ 6.70

出典:日本私立学校振興・共済事業団「令和5年度私立大学・短期大学等入学志願動向」

帯広大谷短期大学が所在する北海道十勝地区には、大学が帯広畜産大学と私どもの短期大学の併せて2校しかない。そんな地域上のメリットが本学の優位性としてあったのかもしれないし、また、他地域に比べ18歳人口の減少度合いが緩やかだったこともあるのかもしれない。しかし、少子化やそれに伴う高学歴化により4年制大学志向が急速に強まっていること。十勝管内郡部の

各高校の生徒募集上の危機感(間口減に直結していく)から、有名?国公私立大学への進学へ力を注ぎ、生徒募集の効果を探っているように見える。いずれにせよ、本地域にあっても私どもの短期大学は苦戦している。4大志向が強まり、地域の荒廃していく状況がより強まっていくことに他の地域と変わりはないと思う。長期低落傾向にあるといって良いと考えている。

〈带広大谷短期大学 学生数〉

2021 (令和 3) 年度 帯広大谷短期大学 学生数 (2021年5月1日現在)

7 è	学者	定員		入	学者		定員3	 定 率	備考
八一	产 相		男	女	学科・専攻計	学科合計	学科・専攻	学科	1佣1号
地域教	養学科	40人	7人	16人	23人	23人	57. 5%	57. 5%	
生活科学科	栄養士課程	40人	4人	28人	32人	32人	80.0%	80.0%	
社会福祉科	子ども福祉専攻	70人	5人	66人	71人	90人	101. 4%	90. 0%	
1 1 五 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	介護福祉専攻	30人	7人	12人	19人	90人	63.3%	90.0%	
合	·計	180人	23人	122人	14	人	80.	6%	

1 &	主件	定員	入学者		在第	 籍数		定員充	足率
1 2	1 年生		八子白	男	女	学科・専攻計	学科合計	学科・専攻	学科
地域教	養学科	40人	23人	7人	16人	23人	23人	57. 5%	57. 5%
生活科学科	栄養士課程	40人	32人	4人	29人	33人	33人	82. 5%	82. 5%
社会福祉科	子ども福祉専攻	70人	71人	5人	66人	71人	90人	101. 4%	90. 0%
社 云 佃 仙 代	介護福祉専攻	30人	19人	7人	12人	19人	90人	63.3%	90.0%
合			145人	23人	123人	140	6人	81.	1%

2.6	∓生	定員	入学者		在第	籍数		定員充足率		
2 -	+エ	足 貝	八子日	男	女	学科・専攻計	学科合計	学科・専攻	学科	
地域教	養学科	40人	40人	13人	25人	38人	38人	95. 0%	95. 0%	
生活科学科	栄養士課程	40人	28人	2人	23人	25人	25人	62. 5%	62. 5%	
社会福祉科	子ども福祉専攻	70人	76人	5人	69人	74人	95人	105. 7%	95. 0%	
社 云 佃 仙 代	介護福祉専攻	30人	23人	10人	11人	21人	90人	70.0%	95.0%	
合	合計		167人	30人	128人	158	3人	87.	8%	

1・2年	生 合計	定員	入学者		在第			定員第	定足率
1 - 2 +	土 口前	. 足貝	八子石	男	女	学科・専攻計	学科合計	学科・専攻	学科
地域教	養学科	80人	63人	20人	41人	61人	61人	76. 3%	76. 3%
生活科学科	栄養士課程	80人	60人	6人	52人	58人	58人	72. 5%	72. 5%
社会福祉科	子ども福祉専攻	140人	147人	10人	135人	145人	185人	103.6%	92. 5%
14五個仙科	介護福祉専攻	60人	42人	17人	23人	40人	100人	66. 7%	92. 5%
合計		360人	312人	53人	251人	304	4人	84.	4%

2022 (令和 4) 年度 在学者数・収容定員及び充足率

λ≐	学者	定員		入	 学者		定員充	 定足率	備考
	, 1	Z Z	男	女	学科・専攻計	学科合計	学科・専攻	学科	בי מונו
地域教	養学科	40人	18人	19人	37人	37人	92. 5%	92. 5%	
生活科学科	栄養士課程	40人	2人	25人	27人	27人	67. 5%	67. 5%	
社会福祉科	子ども福祉専攻	70人	5人	56人	61人	75人	87. 1%	75. 0%	
14 五 徳 仙 代	介護福祉専攻	30人	2人	12人	14人	75人	46. 7%	75.0%	
合	·計	180人	27人	112人	139	9人	77.	2%	

1 4	丰生	定員	入学者		在第			定員充足率	
1 -		是	//] D	男	女	学科・専攻計	学科合計	学科・専攻	学科
地域教	養学科	40人	37人	18人	19人	37人	37人	92. 5%	92. 5%
生活科学科	栄養士課程	40人	27人	2人	25人	27人	27人	67. 5%	67. 5%
社会福祉科	子ども福祉専攻	70人	61人	5人	57人	62人	76人	88. 6%	76. 0%
社 云 徳 仙 代	介護福祉専攻	30人	14人	2人	12人	14人	70人	46. 7%	70.0%
合	合計		139人	27人	113人	140	0人	77.	8%

2 4	丰生	定員	入学者		在第			定員充足率	
_	-	χ.	,, 1	男	女	学科・専攻計	学科合計	学科・専攻	学科
地域教	養学科	40人	23人	6人	16人	22人	22人	55.0%	55.0%
生活科学科	栄養士課程	40人	32人	4人	28人	32人	32人	80.0%	80.0%
社会福祉科	子ども福祉専攻	70人	71人	5人	62人	67人	84人	95. 7%	84. 0%
14 五 徳 仙 代	介護福祉専攻	30人	19人	6人	11人	17人	04人	56. 7%	04. 0%
合	合計		145人	21人	117人	138	3人	76.	7%

1・2年	生 合計	定員	入学者		在第			73. 8% 73. 8 73. 8% 73. 8 92. 1% 51. 7% 80. 0		
,		,C,X	, , ,	男	女	学科・専攻計	学科合計	学科・専攻	学科	
地域教養学科		人08	60人	24人	35人	59人	59人	73. 8%	73.8%	
生活科学科	栄養士課程	人08	59人	6人	53人	59人	59人	73. 8%	73. 8%	
社会福祉科	子ども福祉専攻	140人	132人	10人	119人	129人	160人	92. 1%	90 0%	
位去值位件 介護福祉専攻		60人	33人	8人	23人	31人	100人	51. 7%	80.0%	
合計		360人	284人	48人	230人	278	3人	77.	2%	

2023 (令和 5) 年度 在学者数・収容定員及び充足率

7		定員		,	入学者		定員	充足率	備考
		Z Z	男 女 学科·專攻計 学科合計		学科・専攻	学科	ני מע		
地域共生学科	キャリアデザイン コース	50人	8人	13人	21人	45人	90. 0%	90. 0%	
地域共工于符	食と栄養コース	307	5人	19人	24人	40/	90.0%	90.0%	
社会福祉科	子ども福祉専攻	70人	7人	47人	54人	66人	77. 1%	73. 3%	
化去油紅符	介護福祉専攻	20人	2人	10人	12人	00人	60.0%	73. 3/0	
看證	看護学科		2人	23人	25人	25人	62. 5%	62. 5%	
合計		180人	24人	112人	130	6人	7!	5. 6%	

1	 年生	定員	入学者		在	籍数		定員充足	2率	
·			1	男	女	学科・専攻計	学科合計	学科・専攻	学科	
地域共生学科	キャリアデザイン コース	50人	21人	8人	13人	21人	45人	90. 0%	90. 0%	
地域大工于行	食と栄養コース	307	24人	5人	19人	24人	407	90.0%	90. U%	
社会福祉科	子ども福祉専攻	70人	54人	8人	48人	56人	68人	80. 0%	75. 6%	
社会無性符	介護福祉専攻	20人	12人	2人	10人	12人	00人	60. 0%	/5.6%	
看證	看護学科		25人	2人	23人	25人	25人	62. 5%	62.5%	
合計		180人	136人	25人	113人	138		76. 79	6	

2	年生	定員	入学者		在	籍数		定員充足	已率
_	2 十工		,, ,	男	女	学科・専攻計	学科合計	学科・専攻	学科
地域教	地域教養学科		37人	17人	19人	36人	36人	90.0%	90.0%
生活科学科	栄養士課程	40人	27人	2人	24人	26人	26人	65.0%	65. 0%
社会福祉科	子ども福祉専攻	70人	61人	5人	55人	60人	70人	85. 7%	70. 0%
介護福祉等攻		30人	14人	1人	9人	10人	70人	33. 3%	70.0%
2	合計		139人	25人	107人	132	!人	73. 3%	6

1・2年	 F生 合計	定員	入学者		在	籍数		定員充足	2率
, _		7	, , ₁	男	女	学科・専攻計	学科合計	学科・専攻	学科
地域共生学科	キャリアデザイン コース	50人	21人	8	13	21	45	90. 0%	90. 0%
地域共工子符	食と栄養コース	30人	24人	5	19	24	40	90.0%	90.0%
地域教	收養学科	40人	37人	17人	19人	36人	36人	90. 0%	90.0%
生活科学科	栄養士課程	40人	27人	2人	24人	26人	26人	65.0%	65. 0%
社会福祉科	子ども福祉専攻	140人	115人	13人	103人	116人	138人	82. 9%	72. 6%
介護福祉専巧		50人	26人	3人	19人	22人	130人	44. 0%	72.0%
看記	看護学科		25人	2人	23人	25人	25人	62. 5%	62.5%
合計		360人	275人	50人	220人	270)人	75. 0%	6

3. 本学在学生の活躍

本学在学生はコロナ禍以前においては、ボランティア活動に極めて熱心な学生たちが多くいた。サークル活動も、たとえば人形劇「ありんこ」やトーンチャイム「半熟たまごクラブ」を始めとした表現ツールを使いながら様々な福祉施設を訪問し、高齢者や障害者の皆さんに喜んでもらえるような活動が多く見られた。地域の方々にも広く認知されており、学生たちの存在感も極めて強かったように思う。入試の際の面接でも「短期大学に入って何をしてみたいか」という我々面接官の問いかけに、人形劇サークル「ありんこ」に入り多くの皆さんに喜んでもらいたい、といって目を輝かせる受験生は数多くいた。平成26年度には1、2年生合わせて39名もの在籍者を誇り、十勝管内では圧倒的な輝き、そして存在感を見せてくれたものである。

しかし、である。どこの短期大学でも事情は同じであると思うが、コロナ禍のダメージはこんなところにまで生じていた。コロナ禍により3年間、サークル活動の規制がかかったまま月日が流れた。そもそも短期大学においてサークル活動を理解し、活動していた上級生が皆学校を卒業し、サークル活動は全くの白紙状態になってしまったのである。在学生のみならず、入学生もその多くは高校時代に自宅学習を余儀無くされ、他者とのコミュニケーションをあまりとってこなかった(とれなかった)はずである。いきなり、コロナ禍も終わった(終わらせた?)ので、寺山修司ばりに〈学生たちよ、街に出て元気で頑張ろう〉といっても、そもそも無理な注文だったのである。現状、令和5年度段階でサークル在籍数は全体の47%、124名にすぎず、明らかに学生生活は停滞している(体を動かしたいと思うからか、体育会系サークルには一定数の在籍者はいるが)。学生生活の充実感の欠如が生じ始めていると思う。(特にかつて人気の高かった先述の人形劇サークル「ありんこ」、「半熟たまごクラブ」、いずれも全体で7名に過ぎない。重複して在籍している学生もいるので、もっとその実数は減っているはず。そもそも実に半数以上の学生はサークルに加入していないのである)。

講義においてはチャット機能などにより、意外にもリモートの評価は悪くない。おそらく対面とリモートを併用した講義がこれからのスタンダードになるはずで、ここがクリアできないと学生の授業評価は下がっていくと考えられる。問題はおそらくそこになく、学生生活自体の満足感にあるといって良いのだと思う。さらにいわゆる PBL(プロジェクト型学習)的な機能を短期大学におけるサークル活動は有していたと思う。地域の課題や優位性を肌で確認し、それらについて共通の問題意識を持つこと、それは短期大学生にとって何物にも変え難い極めて有益な時間だったと思うのだ。ひょっとすると、短期大学存続の命運を握っているのはサークル活動の充実にこそあるのかもしれない、とまで思われて仕方がない。ボランティアとして地域の奥深くまで入り込み、そこで暮らす皆さんと直接いっしょに汗をかき、触れ合いながら行ってきた地域活性化の営みこそが短期大学生にしかできない活動であることは、疑いのないことだからである。

ところでいうまでもないことだが、授業においても地域との密なる関係性は揺るぎない。本学・ 地域共生学科には社会教育主事養成の課程がある。ここでは実習活動として帯広の小学校を中心 に「放課後居場所づくり」のサポートをメニュー化している。 また、地元である音更町と連携している生涯学習講座(通称・OOJC オープンカレッジ)を実習先として受講生に対する受付作業を始め、多くの役割をこなしてきた。ただいずれも、コロナ禍の際には企画自体が中止となり、実際の活動はできなかった。あるいは、社会福祉科子ども福

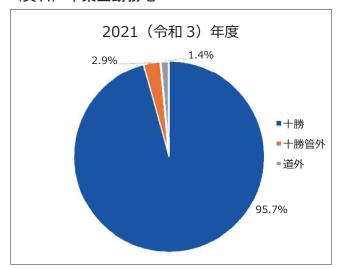


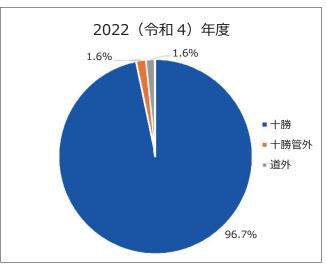
祉専攻の、某ゼミでは本学図書館司書と一緒に帯 広聾学校を訪問し、エコバッグ、しおりなどの作 製を通じて子どもたちとの親交を深めている(左 記写真)。他にもたくさん事例はある。本学の学生 たちは社会の隅々まで広く深く入り、彼らの優し い人柄と相まって多くの人たちを魅了しているの である(なお、この部分に本学・建学の精神、親 鸞聖人のみ教え〈大いなる命に目覚めること〉が 強く発揮されていると感じている)。

4. 本学卒業生の就職について

本学卒業生については、過去3年間で就職率100%(希望者に対する就職者数)を保っている。 キャリア支援の体制がしっかり整っているからだと自負しているところである。また、過去2年間の就職者数に対する十勝管内就職者の割合は令和3年度で95.7%、令和4年度で96.7%となっている。いってみればほとんどの卒業生は地元に就職しているのである。実数で毎年100名を超えている。やはり栄養士、保育士、幼稚園教諭さらには介護職系のいわゆる専門職がその大部分を占めている。地域社会の下支えをする働き手、いわばエッセンシャルワーカーとしてその価値は極めて高いといえよう。

〈資料〉卒業生勤務地





就職内定状況(学科・課程・専攻別)の推移

				卒業	者数	就職希	望者数	就職内	定者数	就職率		
				男女別	学科・専攻計	男女別	学科・専攻計	男女別	学科・専攻計	男女別	学科・専攻	
2021	地域教養学科 生活科学科 栄養士課程		男	13人	- 38人	8人	26人	8人	26人	100.0%	100.0%	
			女	25人	500	18人	20%	18人	20%	100.0%	100.0%	
(R3)			男	2人	- 25人	2人 21	21人	2人	21人	100.0%	100.0%	
	生活科学科 栄養士	不長工队任	女	23人	20%	19人	217	19人	-174	100.0%		
年度		子ども福祉専攻	男	5人	73人	4人	70人	4人	70人	100.0%	100.0%	
	社会福祉科	了它可描述等久	女	68人	702	66人	702	66人	7.00	100.0%	100.0%	
※5月1日時点	11.五油11.17	介護福祉専攻	男	10人	- 21人	10人	21人	10人	21人	100.0%	100.0%	
	介護備征専攻 -		女	11人	217	11人	217	11人	217	100.0%	100.0%	
	全学年		男	30人	157人 —	24人	138 1	24人	138人	100.0%	100.0%	
	Ψ-	全学年 -		127人		114人	138人	114人	100%	100.0%		

				卒業	者数	就職希	望者数	就職内	定者数	就職率	
				男女別	学科・専攻計	男女別	学科・専攻計	男女別	学科・専攻計	男女別	学科・専攻
2022	抽電粉	地域教養学科		6人	21人	6人	20人	6人	20人	100.0%	100.0%
	1E-9, 4x	设于14	女	15人	217	14人	200	14人	20%	100.0%	100.0%
(R4)	生活科学科	栄養士課程	男	3人	31人	3人	28人	3人	28人	100.0%	100.0%
	エルバナバ	不長工际往	女	28人	01,2	25人	2000	25人	2070	100.0%	100.0%
年度		子ども福祉専攻	男	4人	- 64人	3人	58人	3人	58人	100.0%	100.0%
	社会福祉科	7 亿 0 個 位 寺久	女	60人	04)(55人	00)(55人	00)(100.0%	
※3月17日時点	11.五油11.17	介護福祉専攻	男	6人	17人	6人	17人	6人	17人	100.0%	100.0%
		月設福祉等久	女	11人	1/2	11人	17.	11人	1/2	100.0%	100.0%
	수	全学年		19人	133人	18人	123人	18人	123人	100.0%	100.0%
	全字年		女	114人	100%	105人	1237	105人	120%	100.0%	100.0%

この地域でこの種の専門職を養成しているのは介護福祉士を除き、本学しかない(介護福祉士 養成に関しては、帯広市内にある専門学校がその一端を担っている)。

高校時代から、この地域が好きで、この地域のために働きたい、との強い思いで地元の短期大学に入学し、2年間という短い期間でかなりハードな実習をクリアし、念願の職に就いているのである。彼らは極めて純真で真面目な学生生活を送っている。カリキュラム上、長期休暇は実習期間に割り当てられることが多く、単位もかなりの積み上げがある。もちろん、彼らの夢に向かっているわけであり、決して誰かに頼まれて学んでいるのではない。だからこそ、である。彼らの思いをしっかりと受け止め、きちんと評価できる地域社会であってほしいと強く願うのだ。さもないと、彼らは廃れゆく地方に嫌気がさし、中央へ中央へと気持ちを向けてしまうのではないのか、と心配してしまうのだ。繰り返す。彼らに正当な評価を社会的に与えてほしいのである。待遇の問題ももちろんあるだろう。しかし、それ以上に自分たちの為している仕事が社会にどれほど役立っているのか、貢献しているのか、それを明確に示してあげたい、そう思っているのである。若者は、特に短期大学生は地域に貢献したい思いが人一倍強いと感じている。これはとてつもない地域にとっての財産であるはずだ。大人たちが、地元住民が、ここに思いを馳せないようでは地域の未来はない、そう思う。

5. おわりに

以上、本学の事例を眺めながら、在学生、あるいは卒業生がどのように地域で活躍しているのかについて述べてきた。もちろん、このような傾向は全ての短期大学でも当てはまることだと思う。つまり、短期大学、というより短期大学に集う学生たちは地域の宝だ、ということである。地域を活性化させるリーダーとしてエネルギッシュに活動できる可能性を秘めた人材なのだということだけは間違いないと考えている。

しかし、である。冒頭に述べたように私学、特に短期大学を取り巻く環境は絶望的なほどに深刻である。V字回復できた短期大学などほとんどないといってもいい。組織が疲弊し、それこそ教育の質を保てない状況になっているといえよう。すでにその役割を終えた、とする〈呻き〉も聞こえてくる。しかし、地域に根づいている短期大学が消え去ってしまうと、その後に確実に進行していく少子化もあり、代わりの高等教育機関は生まれない。消え去るのみ、である。規模を縮小してでも、地域の生き残りのためにはどうしても今ある短期大学を残さなければいけないのだ、と強く思う。しかし、単体での生き残りは繰り返しになるが、とても厳しい。地域社会の、そして何より国の物心両面からの支えを強く願う所以である。

昭和50年代に脚本家・山田太一「男たちの旅路」(NHK 昭和51年2月~57年2月 全十三話) という連続ドラマがあった。中でも、高齢者の問題を扱った「シルバーシート」という回が忘れられない。老人はいう。〈昔はみんな、社会のために頑張ってきたんだ。それを歳をとったからって、今の世の中に役に立たないからって、敬意を示してくれない、というのは冷たくないか〉。そう訴える彼ら。〈昔、子供のあんたが転んだ時に助けてくれた大人かもしれないんだ〉。

短期大学に思いを馳せる時、いつもこの言葉がなぜだか蘇る。かつて地域のために、社会のために稀有な人材を輩出し続けてきた短大という枠組み。それが少子化・高学歴化の流れで、不要になりつつある。しかし、かつての輝かしい実績をなぜ今、この時代にリスペクトしてくれないのか。今の社会の基盤の一端を担ってきたことは疑いないのである。今や人生100年時代といわれている。しかし若者の数は少ない。高齢者ばかりの世の中になる。であれば、この少ない数しかいない彼らに日本の、地方の未来を託そうではないか。とすれば、現に彼らが住む地域社会を支えてきた短期大学の価値を皆でもう一度確認し、再評価を得て、時代に即した形に変えていく、そんな取り組みを行えないものだろうか。

地方に住み、微力ながら教育に関わってきた者として、現状に強く危機感を覚え、少しばかり 〈いきりたった〉拙文をしたためてみた次第である。地方短大が再評価されることをひたすら願 うばかりである。

(この原稿を書いている際にも、次から次へと歴史を誇る短期大学の閉学のニュースが飛び込んでくる。このままでいいはずはない・・・。

なお、私ごとであるが、令和6年3月をもって学長職を退任することとした。日本私立短期大学協会のご指導のおかげで、なんとか任を全うできたとありがたく思っている。この場を借りてお礼を申し上げたい。短期大学の将来を憂う一人として、より良い方向に向かうことを心より念じて、筆を置く。)



「私立短大卒業生の卒業後の状況調査」からみる短期大学のキャリア支援と進路支援

日本私立短期大学協会 就職問題委員会委員長 群馬医療福祉大学短期大学部 理事長·学長

鈴木 利定

日本私立短期大学協会 就職問題委員会副委員長 青森中央短期大学 キャリア支援課長

柿崎 雅美

■はじめに

就職問題委員会が毎年実施している「私立短大卒業生の卒業後の状況調査」は、会員校における本科第1部(昼間)の学科を対象として、卒業後の状況調査を行っている。集計結果については報告書にまとめ、本協会ホームページにおいて公表している。

なお、本調査は、これまで Excel データにて集計を行っていたが、令和 5 年度は新たに Google フォームを活用して集計を行い、全ての調査対象校から回答を得ることができた。学務 ご多忙にもかかわらずご協力いただき、心より感謝申し上げる。

■令和5年度実施「令和4年度私立短大卒業生の卒業後の状況調査」からみる現状と課題 ◇調査の概要

●調査目的

会員短期大学を対象に実施することにより、地域別の卒業者数・就職希望者数・就職決定者数・ 就職以外の進路者数等について把握する。加えて、短期大学卒業生の雇用形態の状況を確認す るため、就職決定者の正規雇用、非正規雇用の具体的人数を調査し、その結果から、近年特に 問題視されている労働条件、処遇等に対する喫緊の課題に取り組む資料とする。

また、自県内就職者数を調査することにより、地域に密着した短期大学の状況をより正確に 理解し、今後の私立短期大学におけるより良い就職支援を模索するための基礎資料とする。

●調査対象

日本私立短期大学協会加盟の 280 校のうち、第2部(夜間部)のみ設置の4校および通信教育課程のみ設置の1校を除く、275 校における第1部(昼間部)学科。

●調査時期

令和5年6月20日(火)~7月11日(火)

●集計回答校数

集計回答校数は、275 校。(回答率 100%)

●地域の分類

地域の表記については、本協会の支部の区分による下記 9 ブロックとして、各地域の当該 県は次の通り。

北海道

東 北・・・青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島

関東・・・茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、神奈川、新潟、山梨

東京

中部・・・富山、石川、福井、長野、岐阜、静岡、愛知、三重

近 畿・・・滋賀、京都、兵庫、奈良、和歌山

大 阪

中四国(中国)・・・鳥取、岡山、広島、山口

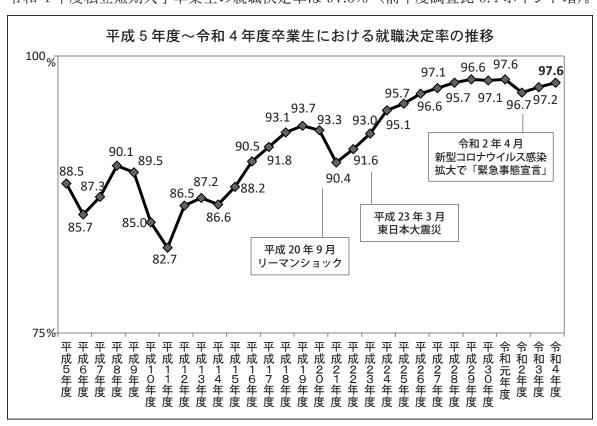
(四国)・・・徳島、香川、愛媛、高知

九 州・・・福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

◇調査結果

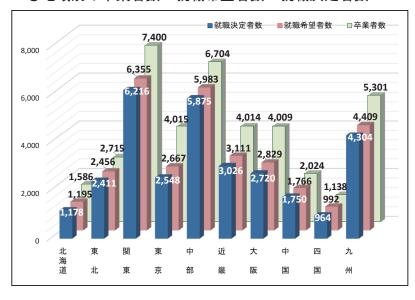
●就職決定率の推移

令和4年度私立短期大学卒業生の就職決定率は97.6%(前年度調査比0.4ポイント増)。



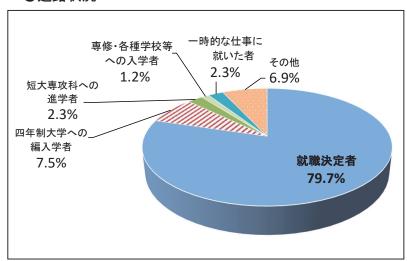
※就職決定率は就職希望者数に対する就職決定者数の割合。

●地域別の卒業者数・就職希望者数・就職決定者数



全国の卒業者数は、38,906名で、就職希望者数は31,763名、就職決定者数は30,992名。就職希望者に対する就職決定者の割合は、すべての地域において9割を超えている。最も高いのは「中国」の99.1%、最も低い「東京」でも95.5%である。

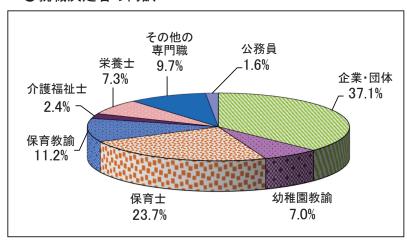
●進路状況



卒業生の進路状況は、「就職決定者」が79.7%であり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けた昨年(令和3年)度の77.7%よりも、2.0ポイント増加した。

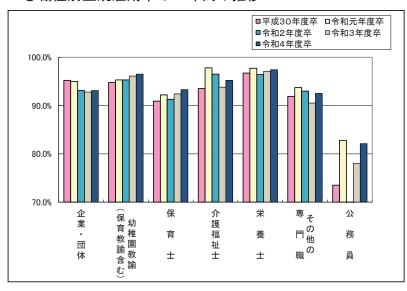
また、昨年度と比べ「四年制大学への編入学者」が8.5%から7.5%に、「その他」は7.5%から6.9%に減少した。他の進路については、大きな変化はみられない。

●就職決定者の内訳



就職決定者の内訳は、「企業・団体」への就職者が37.1%である。「幼稚園教諭」は7.0%、「保育士」は23.7%、「保育教諭」は11.2%で合わせると41.9%で、企業・団体よりも割合が高い。「介護福祉士」は2.4%、「栄養士」は7.3%、「その他の専門職」は9.7%、「公務員」は1.6%である。

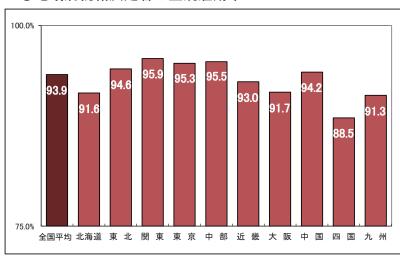
●職種別正規雇用率の5年間の推移



職種別正規雇用率は、公務員以外の職種の正規雇用率は全て9割 を超えている。

中でも「栄養士」は97.4%と最も高く、この5年間安定して9割を超えている。公務員の次に割合が低い「その他の専門職」については、昨年度よりも2.0ポイント増加している。

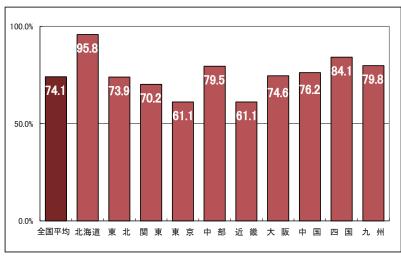
●地域別就職決定者の正規雇用率



地域別正規雇用率は、「四国」以外の地域では9割を超えている。 最も高い地域は「関東」の95.9%で、次いで「中部」95.5%、「東京」 95.3%と続いている。

なお、全国平均 93.9%よりも低い地域は「北海道」 91.6%、「近畿」 93.0%、「大阪」 91.7%、「四国」 88.5%、「九州」 91.3%であった。

●地域別自県内就職率



地域別自県内就職率は「北海道」が 95.8%で最も高く、唯一 9 割を超えている。次いで「四国」 84.1%、「九州」 79.8%であり、最も低いのは「東京」と「近畿」で、同率 61.1%であった。

前述に正規雇用率の低い地域を 記したが、「北海道」の正規雇用率 は全国平均よりも低いが、自県内 就職率は高いなど、就職したい地 域の選択と雇用の条件は必ずしも 一致しない。

◇地域別正規雇用率の状況

●企業・団体

				正規雇用率		(%)
		平成30 年度卒	令和元 年度卒	令和 2 年度卒	令和 3 年度卒	令和 4 年度卒
北洋	声道	94.0	96.0	94.9	95.2	96.0
東	北	93.5	94.3	91.4	93.5	92.7
関	東	96.3	96.1	93.9	95.3	94.9
東	京	96.1	94.8	93.1	91.5	93.9
中	部	97.3	96.6	95.5	96.6	95.4
近	畿	96.1	96.0	92.6	92.7	92.7
大	阪	93.9	92.3	89.1	87.0	85.2
中	国	93.4	94.9	89.3	90.7	93.2
四	国	93.5	93.5	94.6	86.9	93.2
九	州	91.9	92.9	92.7	90.0	91.5
全	国	95.2	95.0	93.1	92.8	93.1

企業・団体の正規雇用率は93.1%で、昨年度よりも0.3ポイント増加した。地域別は「北海道」「東京」「中国」「四国」「九州」が昨年度よりも増加し、中でも「四国」は6.3ポイントも増加した。

最も低い「大阪」は、5年間で1~3ポイントずつ減少し、平成30年度と比べると8.7ポイント減少した。

●幼稚園教諭

				正規雇用率		(%)
		平成30 年度卒	令和元 年度卒	令和 2 年度卒	令和 3 年度卒	令和 4 年度卒
北洋	再道	90.2	91.2	93.6	95.2	95.6
東	北	90.0	90.8	90.9	92.4	98.7
関	東	98.6	98.6	98.6	98.7	98.3
東	京	94.8	99.0	88.1	99.3	99.5
中	部	98.2	96.7	98.4	98.3	98.3
近	畿	91.7	93.5	93.9	93.1	92.4
大	阪	96.5	98.0	96.4	98.0	95.9
中	国	92.1	88.3	93.6	92.5	96.1
匹	国	85.0	88.1	92.5	93.5	85.7
九	州	92.6	94.4	94.2	93.8	96.2
全	围	94.8	95.3	95.3	96.1	96.9

幼稚園教諭の正規雇用率は 96.9 %で、昨年度よりも 0.8 ポイント増 加した。

地域別は「北海道」「東北」「東京」「中国」「九州」が昨年度よりも増加した。「東北」は昨年度よりも6.3ポイント増加し、この5年間で8.7ポイントも上昇した。次いで「中国」が昨年度と比べ3.6ポイント増加した。「四国」は昨年度まで順調に上昇していたが、本年度は7.8ポイント減少した。

●保育士

				正規雇用率		(%)
		平成30 年度卒	令和元 年度卒	令和 2 年度卒	令和 3 年度卒	令和 4 年度卒
北洋	再道	71.8	79.0	83.6	82.7	86.9
東	北	87.2	88.3	89.7	89.8	93.2
関	東	96.1	97.4	96.1	96.8	96.7
東	京	96.0	98.8	88.6	99.8	97.2
中	部	93.1	91.8	93.4	92.1	92.4
近	畿	94.5	93.7	88.7	88.2	94.4
大	阪	97.3	96.7	96.4	96.4	96.3
中	国	88.8	88.0	89.1	92.7	94.5
四	国	75.1	75.7	78.9	75.8	78.7
九	州	85.1	89.3	88.4	89.6	89.6
全	国	90.9	92.2	91.3	92.4	93.3

保育士の正規雇用率は93.3%で、 昨年度に比べ0.9ポイント増加した。「北海道」「東北」「中部」「近畿」 「中国」「四国」が昨年度よりも増加したが、「四国」は全国で最も低い。 5年間で「北海道」は15.1ポイント、 「東北」も6.0ポイントの上昇である。

●保育教諭

		就職 決定者数	正規 雇用者数	非正規 雇用者数	正規 雇用率
北淮	弹道	158	134	24	84.8%
東	北	332	317	15	95.5%
関	東	681	669	12	98.2%
東	京	38	38	0	100.0%
中	部	559	548	11	98.0%
近	畿	518	497	21	95.9%
大	阪	404	397	7	98.3%
中	国	186	183	3	98.4%
匹	国	85	74	11	87.1%
九	州	497	472	25	95.0%
全	国	3,458	3,329	129	96.3%

幼保連携型認定こども園の保育教 諭の正規雇用率は96.3%で、保育 士の正規雇用率よりも高い。「北海 道」「四国」は80%台だが、他の地 域は95%を超えている。

※保育教諭は令和3年度の本調査まで[幼稚園教諭]に含めて集計していたため、正規雇用率の経年比較は行えない。

●介護福祉士

				正規雇用率		(%)
		平成30 年度卒	令和元 年度卒	令和 2 年度卒	令和 3 年度卒	令和 4 年度卒
北淮	再道		/	/	73.7	87.5
東	北		/	/	98.8	100.0
関	東			/ /	100.0	100.0
東	京	/			100.0	100.0
中	部				86.5	92.4
近	畿	/			92.3	96.2
大	阪				100.0	93.5
中	国				100.0	100.0
匹	国				100.0	82.9
九	州	/			97.0	96.5
全	国	93.5	97.8	96.5	93.8	95.2

介護福祉士の正規雇用率は95.2%で、昨年度と比べ1.4ポイント増加した。「四国」は昨年度100%だったが、17.1ポイント減少した。人手不足が顕著な職種だが、地域による正規雇用率の差が生じている。

※介護福祉士は令和2年度の本調査まで地域別集計を行っていないため、令和3年度と4年度のみの比較とする。

●栄養士

			(%)			
		平成30 年度卒	令和元 年度卒	令和 2 年度卒	令和 3 年度卒	令和 4 年度卒
北洋	声道	96.0	98.9	95.2	95.9	96.2
東	北	96.6	98.6	92.8	97.1	96.0
関	東	98.8	99.3	97.5	98.6	98.7
東	京	97.9	98.8	99.7	99.3	100.0
中	部	96.6	96.6	94.9	96.0	97.8
近	畿	96.9	99.4	97.5	97.1	98.4
大	阪	96.7	98.0	98.8	97.3	98.1
中	国	97.5	97.4	94.6	96.6	96.3
匹	国	90.2	94.3	96.7	95.8	93.3
九	州	95.9	96.4	96.7	96.0	96.0
全	国	96.7	97.7	96.4	97.1	97.4

栄養士の正規雇用率は97.4%で、 昨年度と比べ0.3ポイント増加した。前述までの専門職の中で一番 高い正規雇用率である。「東京」は 100%。「北海道」は介護福祉士、 保育士・保育教諭は80%台の正規 雇用率であるが、栄養士は96.2% と高い。

●公務員

		就職 決定者数	正規 雇用者数	非正規 雇用者数	正規 雇用率
北海道		45	42	3	93.3%
東	北	40	33	7	82.5%
関	東	49	41	8	83.7%
東	京	26	25	1	96.2%
中	部	191	171	20	89.5%
近	畿	52	37	15	71.2%
大	阪	26	15	11	57.7%
中	玉	15	7	8	46.7%
匹	玉	14	9	5	64.3%
九	州	29	20	9	69.0%
計		487	400	87	82.1%

公務員の正規雇用率は82.1%で、「東京」が96.2%、次いで「北海道」が93.3%で90%を超えるのはこの2地域のみである。

●その他の(国家資格・免許を必要とする)専門職

専門職名	就職 決定者数	正規 雇用者数	非正規 雇用者数	正規 雇用率
小 学 校 教 諭	134	55	79	41.0%
中学校教諭	40	19	21	47.5%
養 護 教 諭	61	5	56	8.2%
栄 養 教 諭	10	1	9	10.0%
特別支援学校教諭	4	0	4	0.0%
図書館司書	53	5	48	9.4%
看 護 師	890	887	3	99.7%
准看護師	6	6	0	100.0%
臨床検査技師	99	96	3	97.0%
理学療法士	164	164	0	100.0%
作 業 療 法 士	73	73	0	100.0%
柔道整復師	9	9	0	100.0%
視 能 訓 練 士	35	35	0	100.0%
歯科衛生士	713	712	1	99.9%
歯科技工士	16	16	0	100.0%
調理師	74	73	1	98.6%
製 菓 衛 生 師	67	67	0	100.0%
美 容 師	105	105	0	100.0%
自動車整備士	462	462	0	100.0%
合 計	3,015	2,790	225	92.5%

「小学校教諭」「中学校教諭」の 正規雇用率は共に50%以下で、「養 護教諭」は8.2%、「栄養教諭」は 10%、「特別支援学校教諭」は0% である。また、「図書館司書」も10 %未満である。

一方で、「看護師」「准看護師」「臨 床検査技師」「理学療法士」「作業療 法士」「歯科衛生士」「歯科技工士」 など医療関係の職種や、「柔道整復 師」「視能訓練士」、また「調理師」「製 菓衛生師」、「美容師」「自動車整備 士」の正規雇用率は100%かそれに 近い水準を保っている。

2年もしくは3年で多くの免許・ 資格を取得できるのが短期大学の特 徴であるが、職種によって雇用環境 の違いに大きな差があることがわか る。

注)本公務員は一般行政職、学校事務職、自衛官、消防士等に就いたものを指す。

■令和4年度の就職・採用活動における総括について(まとめ)

本調査では就職者数等の設問の他に、就職支援担当者から見た「令和4年度の就職・採用活動における総括」について自由記述回答を求めたところ、275校のうち159校から回答が得られた。ここでは特に回答が多かった内容について、(1)昨年度と比較して変化したこと、(2)学生の支援で苦労したこと、(3)成功した取り組みや工夫した支援、(4)課題だと感じることの4つに分けて取りまとめた。

(1) 昨年度と比較して変化したこと

- ・コロナ禍で県外への就職を敬遠する学生が多かったが、令和4年度は県外へ就職する学生が増加した。本調査の結果においても、「自県内就職率」が昨年度は75.2%だったが、今年度は74.1%と1.1ポイント減少したことが分かる。
- ・コロナ禍に定着したオンラインでの採用活動については、コロナが落ち着いた現在でも継続 してオンラインツールが活用されており、学生にとって、移動にかかる時間や交通費等の軽 減というメリットを生んだ。
- ・専門職の免許、資格取得を途中で断念する学生が増加した。取得した場合でも一般職を志望 する学生や、一時的な仕事に就く学生が増加した。
- ・保育園等の施設では、コロナ禍で園見学を中止していたが、再開する園も増えた。
- ・実習期間の変更に伴い、学生の就職活動が後ろ倒しになり、就職活動期間の長期化に繋がった。
- ・コロナ禍で特に影響を受けた、航空、旅館・ホテル、飲食サービス、アパレルなどの業種の求 人が回復した。一方でそうした業種を敬遠する学生が増え、求人の回復と学生の希望に乖離 が生じたケースもあった。
- ・「編入、進学の希望者が増加した。」との記述が多数あったが、本年度調査結果の「編入・進学決定者」は、昨年度の12.5%から11%と減少している。

(2) 学生の支援で苦労したこと

- ・就職活動に消極的な学生が増えたように思う。
- ・コロナ禍でインターンシップやボランティアへの参加が困難な状況が続いたことにより、就 業意識が希薄な学生に対する指導に力を入れた。
- ・学生に連絡しても折り返しの電話がない、またはメールを読まないなどの理由により、学生 の就職活動状況の把握ができないため、求人の紹介等の支援方法が難しい。
- ・短期大学に入学する前からコロナ禍で制限された学生生活を過ごしてきたため、「ガクチカ(学生時代に力を入れたこと)」となる経験が少なく、自己 PR のエピソードの掘り起こしに苦戦する学生へのフォローを手厚くした。

・オンラインによる説明会や面接の普及により、企業の雰囲気が掴みにくく、志望する就職先 の選定に苦労する学生への支援方法を模索した。

(3) 成功した取り組みや工夫した支援

- ・就職担当部署の職員と学科教員との連携による情報共有を行った(教職協働)。
- ・連絡の取りづらい学生への連絡や、就職講座の周知を学科教員に依頼した。
- ・進路相談や履歴書添削、面接指導などの個別対応を重視した。
- ・個別面談を早期に実施したことで、キャリア支援課の利用率が上がった。
- ・ハローワークや外部のキャリアコンサルタントとの連携を図った。

(4) 課題だと感じること

- ・免許・資格を取得しない学生への指導。
- ・進路の方向性が定まらない学生への指導。
- ・就職意欲の醸成。
- ・就職活動に積極的な学生と消極的な学生の二極化が目立つ。活動しない学生への支援。
- ・就職先のミスマッチ防止と定着率を上げること。
- ・1、2 社の採用試験で不採用となった後、就職活動を諦めてしまう学生への支援。
- ・保育園見学の際に園長との面談を行う園がある。
- ・オンラインやオンデマンドによる指導では学生の理解度が低い。

■おわりに/令和4年度卒業生調査と地域で活躍する卒業生によるキャリア教育

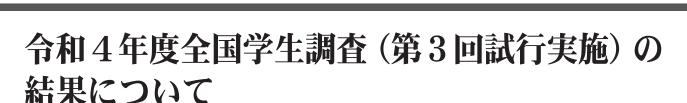
令和2年3月に新型コロナウイルスの感染が拡大し始め、4月には「緊急事態宣言」が全国に発出され、外出自粛が促された。その影響を大きく受けたのが、「飲食」「アパレル」「旅館・ホテル」「航空」業界である。業績悪化による倒産や、新卒採用の中止等で求人数が減少したことにより、当時就職活動をしていた学生の中には志望業界の変更を余儀なくされた者も多かった。しかし、「令和4年度私立短大卒業生の卒業後の状況調査」では、これらの業界の求人が回復したとの報告があった。短期大学で学び、希望業種・職種への就職が叶い「内定しました」という学生からの報告は就職担当者にとって、「この仕事をして良かった」と思う瞬間である。「コロナ禍で就職に不安を抱える学生一人ひとりに寄り添いながら支援を続けた」「教職員間で情報共有しながら支援した」との報告も多く、就職決定率は微増ではあるがコロナ禍前の状況まで回復した。

新型コロナウイルス感染症拡大により、企業等が実施せざるを得なかったオンラインによる説明会、採用試験は定着し、現在も多くの企業で続けている。1日の授業時間が多い短期大学生に

とっては、移動にかかる時間や交通費等の費用軽減など、利点があることを知った。一方でオンラインでは現場の雰囲気が掴みにくいとの報告もあり、状況に応じた企業側の柔軟な対応が求められる。

就職問題委員会が実施している私立短期大学就職担当者研修会のグループ討議において、キャリア教育に「卒業生講話、座談会」を取り入れているという事例は多い。地域で活躍する卒業生を招聘し、それぞれの業界・職種や企業・施設等の魅力、仕事のやりがいを学生に伝えてもらっている。短期大学で学んだ後に職業人として地域で活躍している卒業生は、在学生の職業観を刺激する効果がある。さらに、「もっと学んでおけば良かったこと」「短期大学での学びが役に立っている」という、卒業生の話に在学生は熱心に耳を傾ける。また、就職活動で悩んだ、迷った際は、学科の教員や就職課に頼ることを勧めてもくれる。卒業生の成長は私たち教職員の励みとなっている。短期大学にとって地域で活躍する卒業生は学生のキャリア支援や就職支援に不可欠な存在である。

これからも私たちは学生に寄り添い、また時々は活躍する卒業生のアドバイスをいただきながら、全力で支援を続けたい。



文部科学省 高等教育局 高等教育企画課

1. 概要

「全国学生調査」は、「学修者本位の教育への転換」を目指す取組の一環として、全国共通の質問項目により、学生目線から大学教育や学びの実態を把握し、大学の教育改善や国の政策立案など、大学・国の双方において様々な用途に活用することを目的としている。

第3回試行実施は、令和元年度の第1回、令和3年度の第2回試行実施に引き続き、適切な調査方法や質問項目などを整理・検証するため、令和4年11月28日(月)~令和5年1月20日(金)の間、国立教育政策研究所と共同で実施し、10万人を超える多くの学生から回答を得た。短期大学については、第2回試行実施から調査の対象に含めており、今回が2回目の実施となったが、全体的に大学よりも肯定的な回答の割合が高い傾向にあった。

2. 調查内容

(1) 調査対象

試行実施に参加意向のあった 532 大学^{*1} に在籍する学部 2 年生(約 46 万人)及び 4 年生等^{*2} (約 49 万人)、並びに参加意向のあった短期大学 148 校^{*1} に在籍する 2 年生以上^{*2} (約 2.4 万人)を調査対象とした。

- ※1 試行実施では、調査方法や質問項目などを整理・検証し、全国学生調査の制度設計の確立を目的とすること から、全大学(782大学)に対して試行実施へ参加協力の可否等について意向確認を実施し、68.0%の大学 から参加意向の回答があった。同様に全短期大学(309校)にも意向確認を実施し、47.9%の短期大学から 参加意向の回答があった。
- ※2 各大学・短期大学の標準修業年限における最終学年の学生を対象とした。

(2) 調査方法

インターネット (WEB) 調査とし、スマートフォン・PC・タブレット端末等で回答が可能であった。スマートフォンから回答する学生が多くみられた。

(3) 質問項目

大学で受けた授業の状況、大学での経験とその有用さ、大学教育を通じて知識や能力が身に付いたか、平均的な1週間の生活時間等、全45間で構成されており、例えば、

- Q 6. 課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却される機会がどの程度あったか
- Q 14. キャリアに関する科目、キャリアカウンセリングはどの程度有用だったか

- Q 36. 授業アンケート等の学生の意見を通じて大学教育がよくなっているかどうか
- Q 41. 予習・復習・課題など授業に関する学習時間(卒業論文等は除く)

など、学生本人から回答を聴取しないと実態を把握できないような質問項目からなっていた。

3. 回答状況

(1) 全体の回答状況

回答数、回答率については、以下の表のとおりであるが、大学については対象大学 782 大学のうち 532 大学が参加し学生の回答率は 10.6%であったのに対し、短期大学については対象 309 校のうち 148 校が参加し、学生の回答率は 27.9%であった。

全体としての回答率は第2回試行実施と比較して低下しており、全体として回答率を高める 工夫が必要であり、文部科学省としても次回の実施に向けて検討を進めているところであり、 各大学・短期大学においても参加率の向上と、学生の回答率の向上に努めていただきたい。

÷↓ <i>f</i> tı	対象校数	対象学部数 ※短大において は学科数	対象学生数 ※短大においては最終学年のみ		有効回答者数 ※短大においては最終学年のみ		回答率
対象			2年生	4年生以上	2 年生	4年生以上	合計
大 学	532 校	2,083 学部	462,252	488,595	51,502 (11.1%)	49,570 (10.1%)	10.6%
うち基準 [*] 合致	279 校 (52.4%)	660 学部 (31.7%)	201,323 (43.6%)	216,481 (44.3%)	37,708 (73.2%)	36,757 (74.2%)	17.8%
短期大学	148 校	294 学科	24,	376	6,805		27.9%
@うち基準 [*] 合致	60 校 (40.5%)	93 学科 (31.6%)		7,502 4,758 (30.8%) (69.9%)			63.4%
合計	680 校	2,377 学部・学科	975	75,223 107,877		,877	11.1%
うち基準 [*] 合致	339 校 (49.9%)	753 学部・学科 (31.7%)	425,306 (43.6%)		79,223 (73.4%)		18.6%
(参考:第2回試行実施結果)							
大 学	582 大学	2,117 学部	949,482 人 112,34		341 人	11.8%	
集計基準 合致学部	328 大学 (56.4%)	776 学部 (36.7%)	461,162 人 (48.6%)		84,486 人 (75.2%)		18.3%
短期大学	157 校	304 学科	25,433		7,031		27.6%
集計基準 合致学部	55 校 (35.0%)	85 学科 (28.0%)	7,932 (31.2%)		4,674 (66.5%)		58.9%

[※]学部単位で「対象学生数が、① 60 人以上 80 人未満のとき、有効回答者数 30 人以上、② 80 人以上 200 人未満のとき、 有効回答者数 40 人以上、③ 200 人以上 600 人未満のとき、有効回答者数 50 人以上、④ 600 人以上のとき、有効 回答者数 60 人以上、⑤ 60 人未満のとき、有効回答率 50%以上」を集計基準として設定。

(2) 短期大学の回答状況

次に短期大学の回答状況について、設置者・規模別に概観する。詳細は以下の表のとおりであるが、公立よりも私立の方が回答率がよいこと、小規模校の方が回答率がよくなっていることが見て取れる。短期大学は、全体的に大学に比べて規模が小さいことから、学生に周知しやすいといったメリットがあり、回答率がよくなったものと考えられる。

〈設置者*別の回答状況〉

区分	対象大学数	対象学科数	対象学生数	有効回答者数	有効回答率
国立	_	_	_	_	_
公立	9 大学	23 学科	1,683 人	373 人	22.2%
私立	139 大学	271 学科	22,693 人	6,432 人	28.3%

[※]人数については、最終学年の在籍者数の合計

〈短期大学規模[※]別の回答状況〉

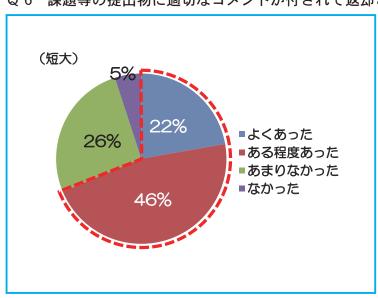
短大規模	対象校数	対象学生数	有効回答者数	有効回答率
400 人以上	5 校	2,735 人	866 人	31.7%
400 人未満 200 人以上	38 校	9,958 人	2,065 人	20.7%
200 人未満 100 人以上	60 校	8,734 人	2,893 人	33.1%
100 人未満	45 校	2,949 人	981 人	33.3%

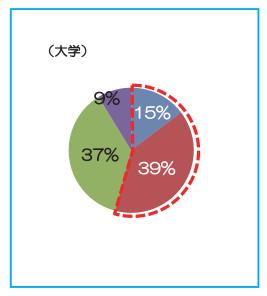
[※]人数については、最終学年の在籍者数の合計

4. 短期大学の調査結果 (大学との比較)

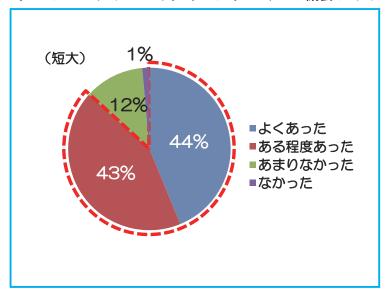
ここまで全体の回答状況について概観してきたが、個別の質問項目に対する短期大学の学生の回答結果を、大学の学生の回答結果と比較してみたい。「問1 大学に入ってから受けた授業で、次の項目はどのくらいありましたか」については、【Q6】「課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却された」に関して「よくあった」「ある程度あった」は計68%であり、大学より14ポイント高かったほか、【Q7】「グループワークやディスカッションの機会がある」についても「よくあった」「ある程度あった」が計87%であり、大学より13ポイント高かった。短期大学は少人数制の授業を実施する学校が多く、教職員と学生の距離が近くきめの細かい教育に取り組んでいることがわかる結果となった。

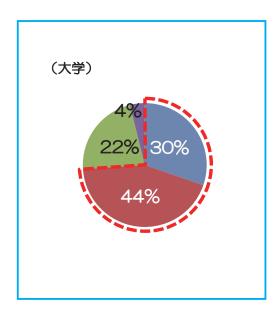
Q 6 課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却される





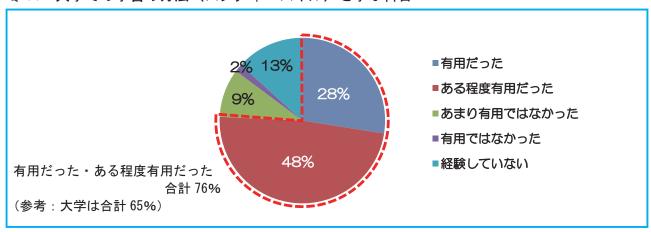
Q 7 グループワークやディスカッションの機会がある



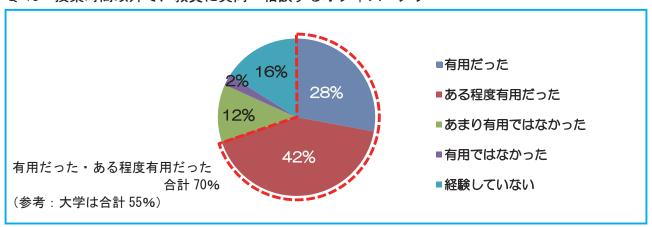


「問2 大学在学中に経験した以下の項目はどの程度有用だったと感じますか」についても、全体として短期大学による学生支援等の有用性を高く評価する回答が多く、肯定的な回答(「有用だった」、「ある程度有用だった」)の割合が、例えば【Q11】「大学での学修の方法(スタディ・スキル)を学ぶ科目」で 76%(大学 65%)、【Q13】「授業時間以外で、教員に質問相談するオフィス・アワー」で 70%(大学 55%)、【Q14】「キャリアに関する科目、キャリアカウンセリング」で 68%(大学 48%)と、大学と比較して高かった。

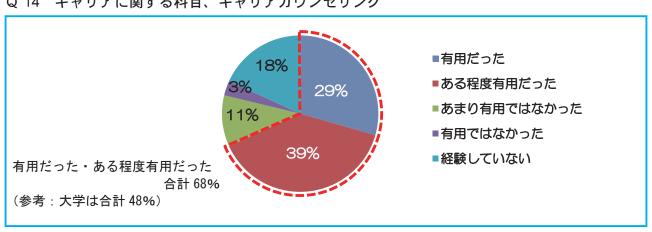
Q 11 大学での学習の方法 (スタディ・スキル) を学ぶ科目



Q 13 授業時間以外で、教員に質問・相談するオフィス・アワー



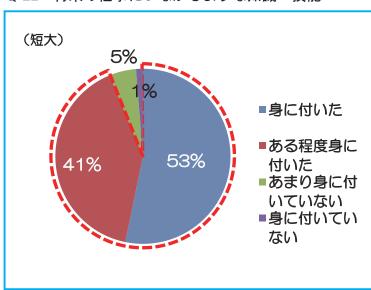
Q 14 キャリアに関する科目、キャリアカウンセリング

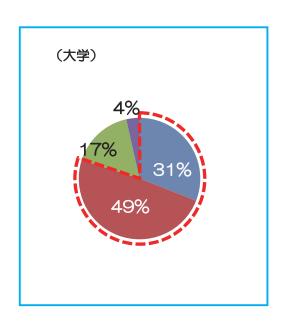


「問3 大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか」については、 【Q22】「将来の仕事につながるような知識・技能」が「身に付いた」「ある程度身に付いた」が 計94% (大学80%)であり、職業教育の成果が評価されていると捉えることができる。

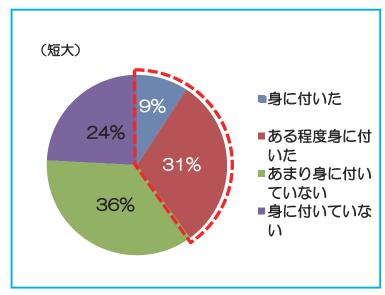
なお、政府として推進している「数理・データサイエンス・AI」に関わる、データサイエンス等の知識・技能については 40%であり、大学よりも低い割合となったが、例えば「AI 戦略 2022」においてはデジタル社会の基礎知識(いわゆる「読み・書き・そろばん」的な素養)であるとされており、短期大学においても一般教養的な位置づけでカリキュラムに盛り込まれていくことを期待したい。

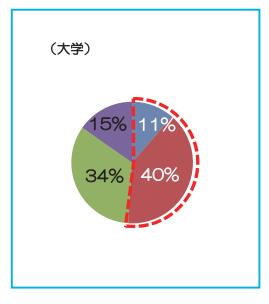
Q 22 将来の仕事につながるような知識・技能





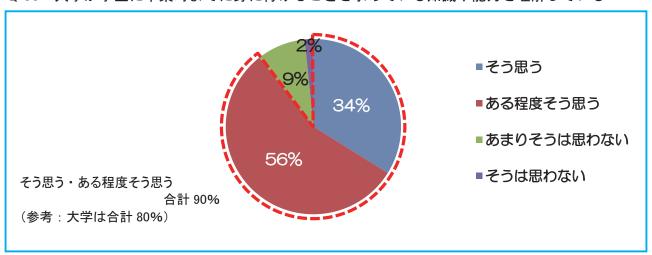
Q 28 数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能



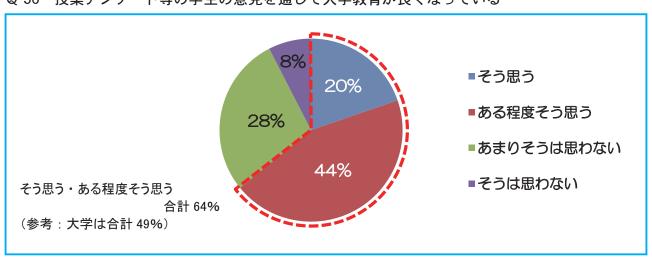


「問4 これまでの大学での学び全体を振り返って、次の項目についてどのように思いますか」についても、短期大学の学生は、自らの成長や身に付けた知識・技能について、大学の学生と比較してより肯定的に評価していることが明らかになっている。【Q35】「大学が学生に卒業時までに身に付けることを求めている知識や能力を理解している」では「そう思う」または「ある程度そう思う」と回答した割合は90%と大学よりも10ポイント高かった。また、【Q36】「授業アンケート等の学生の意見を通じて大学教育が良くなっている」では「そう思う」または「ある程度そう思う」と回答した割合は64%と大学よりも15ポイント高く、学生の意見を踏まえた教学の改善を大学生と比較して実感できていることが窺える。

Q 35 大学が学生に卒業時までに身に付けることを求めている知識や能力を理解している

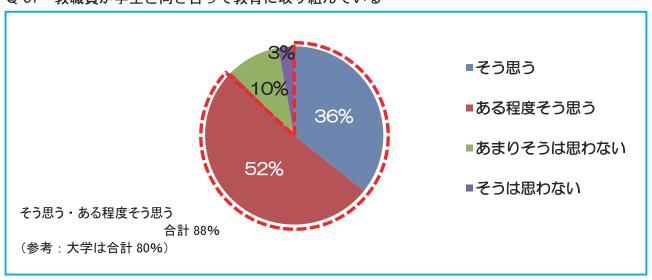


Q 36 授業アンケート等の学生の意見を通じて大学教育が良くなっている

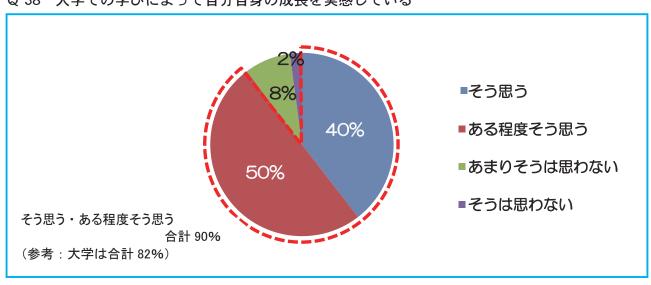


【Q37】「教職員が学生と向き合って教育に取り組んでいる」では、「そう思う」または「ある程度そう思う」と回答した割合が88%に上り、教職員が学生目線での教育に注力していると学生が感じられていることが見て取れる。こうした教職員の姿勢も影響しているのか、【Q38】「大学での学びによって自分自身の成長を実感している」で「そう思う」または「ある程度そう思う」と回答した割合は90%となっており、短期大学での学修により自身が成長できていると捉えている学生が大半を占めていることが明らかとなっている。

Q 37 教職員が学生と向き合って教育に取り組んでいる



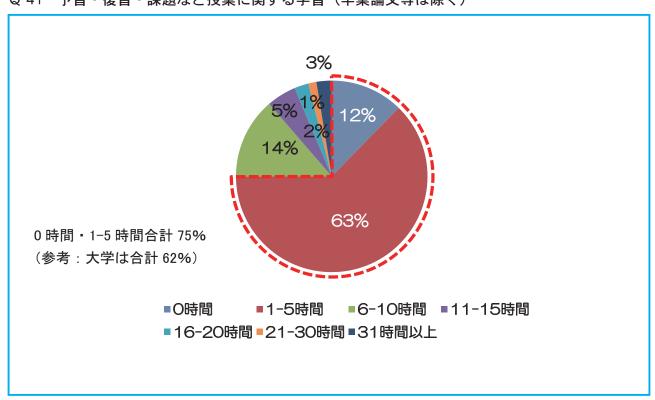
Q 38 大学での学びによって自分自身の成長を実感している



「問 5 今年度後期の授業期間中の平均的な 1 週間 (7 日間) の生活時間はそれぞれどのくらいですか【2 年生】」については、【Q 41】「予習・復習・課題など授業に関する学習」が 5 時間以下の学生の割合が 75%であり、予習・復習・課題など授業に関する学習時間の短さは短期大学においても大学と同様に課題であると言える。この項目については、前回の第 2 回試行実施において 5 時間以下の学生が 65%であったことを踏まえると、学生が勉強しなくなっているように見受けられる。アルバイトやサークル活動等の時間が顕著に増加しているというものでもないことを踏まえれば、これまでオンライン授業等で多く課されていた課題が、対面授業の増加に伴って減ったことの影響が考えられ、学生が授業の内容を効果的に学べている可能性も指摘できる。

いずれにしても、週5時間以下というのは1日1時間以下の学習時間であることを指しており、各大学・短期大学においては、授業の内外において学生の学びを促すような取組が進められることを期待したい。

Q 41 予習・復習・課題など授業に関する学習(卒業論文等は除く)



5. 最後に

令和5年9月25日、中央教育審議会に文部科学大臣から、「急速な少子化が進行する中での将来社会を見据えた高等教育の在り方について」が諮問された。現在、中央教育審議会大学分科会において、主な検討事項の「(2)今後の高等教育全体の適正な規模を視野に入れた地域における質の高い高等教育へのアクセス確保の在り方」に関連して、「教育や経営に関する情報の公表に係る方策」についても審議がなされているところである。

情報公表は学生等、直接の関係者に加え、社会貢献の一環として社会に対して説明責任を果たしていくうえで極めて重要である。特に、「全国学生調査」の質問項目は、社会からその公表が強く求められている学修成果・教育成果に関係するものであり、これらは、教学マネジメント指針(令和2年1月22日大学分科会)において、早期に情報公表が進められることが強く期待される情報の例*に整理されるものである。

各大学・短期大学において、「全国学生調査」の結果やその分析を公表し、教育研究活動を見つめ直し、教学の質の向上に繋げることにより、社会からの信頼と支援を得ていくことが期待される。

また、全国学生調査の有用性を一層高めるため、文部科学省としても、大学が参加しやすく、 学生も回答しやすい調査かつ分析に資するものになるよう検討を進めているところであり、今後 の調査に関する情報を注視いただきたい。対象となる大学・短期大学においては調査への参加や 回答率向上に資する取組(学生への機会をとらえた周知等)をお願いして本稿を閉じることとし たい。

※『卒業認定・学位授与の方針』に定められた学修目標の達成状況を明らかにするための学修成果・教育成果に関する情報の例等のうち「大学の教育活動に伴う基本的な情報であって全ての大学において収集可能と考えられる もの」

速な少子化が進行する中での将来社会を見据えた (令和5年9月25日 等教育の在り方について 毛 恒



哑

高等教育の在り方を検討する背景・必要性

急速な少子化

- ・18歳人口は大幅に減少(1966年:約249万人(最高値)→2022年:約112万人)
- **大学進学者は増加**(1966年:約29万人→2022年:約64万人(最高值)
- 2022年の出生数は77万759人(統計開始以来最少)
- →大学進学率の伸びを加味しても、**2040年の大学入学者数は約51万人**、 2020年までの10年間は50万人前後で推移と推計

グランドデザイン答申以降の高等教育を取り巻く変化

- ・コロナ禍を契機とした**遠隔教育の普及**
- 国際情勢の不安定化、世界経済の停滞

我が国の研究力の低下

- 学修者本位の教育への転換など高等教育の質を高める取組の推進
 - - 研究力強化策の推進(国際卓越研究大学制度等)
- **初等中等教育段階の学びの変化**(ICT環境整備、問題発見・課題解決的な学習活動の充実等)
- 修学支援新制度の導入、低所得者世帯の高等教育進学率の上昇

微

真に人が果たすべき役割を実行できる人材を育成することが必要。リカレント教育も重要。こうした人材育成が個人・社会のWell-beingの実現にも貢献

一人一人の実りある生涯と我が国社会の持続的な成長・発展を実現し、人類社会の調和ある発展に貢献するため、



主な検討事項 Si

- (1)2040年以降の社会を見据えた高等教育が目指すべき姿
- 時代を担う人材に必要とされる貧質・能力の育成に向け、高等教育機関に関して今後更に取り組むべき具体的方策について検討。 同答申以降の社会的、経済的変化を踏まえ、 グランドデザイン各申で示された高等教育の目指すべき姿を前提としつつ、
 - その際、**成長分野をけん引する人材の育成や大学院教育の改革**等の重要性にも留意 (2)今後の高等教育全体の適正な規模を視野に入れた地域における質の高い高等教育へのアクセス確保の在り方
 - 2040年以降の我が国の大学入学者数の減少や、地域ごとの高等教育機関を **取り巻く状況の違い**等を踏まえ、今後の**高等教育全体の適正な規模**も視野/ 入れながら、 **高等教育へのアクセス確保の在り方**を検討
- 特に、学部構成や教育課程の見直しなど**教育研究の充実**や**高等教育機関間 の連携強化、再編-統合等の促進、情報公表**等の方策を検討。
- その際、地方の高等教育機関が果たす**多面的な役割**も十分考慮。

(3)国公私の設置者別等の役割分担の在り方

ッションの多様化や、学部再編等 支援といった動ききも

各国立大学のミ

これからの

高等教育全体の目指すべき姿の議論においては設置者・機関別の観点も必要。 |・国立:世界最高水準の教育研究の先導や学問分野の継承・発展等

- ・公立:地域活性化の推進や行政課題の解決への貢献等
- ・私立:高等教育の中核基盤として、専門人材の輩出や多様性確保等
- ・<u>短人</u>は地方の進学機会を確保。 <u>高専</u>は実践的・創造的な技術者の、 <u>専門職大学</u>は専門職業)の、 <u>専門学校</u>な地域産業を担う専門人材の輩出に貢献。
- 設置者別・機関別等の 役割分担の在り方や果たすべき役割・機能、その実現方策を検討 こうした期待や変化等を踏まえ、急速な少子化の中での、

(4) 高等教育の改革を支える支援方策の在り方

検討事項(1)~(3)等を踏まえ、**教育研究を支える基盤的経費や競争的研究費等の充実、民間からの投資を含めた多様な財源の確保**の観点も含めた、<mark>今後の高</mark> 等教育機関や学生への支援方策の在り方等について検討。

短大卒業生の活躍を Watch!

より多くのお客さまに喜んでいただけるように



大手前短期大学で学んで

私が大手前短期大学に進学したのは、コース自由選択制で簿記やパソコン、医療事務など幅広い分野を勉強でき、自分の将来に幅が広がると思ったからです。入学後は「ビジネスキャリアコース」を選択して、簿記やパソコンの授業に力を入れました。その結果、2級医療秘書、MOS Word、MOS Excel、ビジネス実務士、手話検定などの資格を取得しました。

短大生活で一番の思い出は、「アナウンスゼミ」で3ヶ月間のラジオ番組を毎週収録したことです。企画・制作に関わり、友人と協力して作り上げた達成感を得ることができ、とてもよい思い出になっています。

橋本 華奈 さん

大手前短期大学 ライフデザイン総合学科卒業

勤務先 大阪シティ信用金庫

職 種 総合職 **勤務年数** 3年目

現在の仕事について

今は主に信用金庫の窓口業務の他に現金管 理も行っています。

この仕事を選んだのは1年生の1月くらいですが、きっかけはキャリアセンターの方に勧めていただいたことです。

その後は信用金庫からの内定を得るために、色々と調べたり、キャリアセンターの方からアドバイスももらったりしました。信用金庫の選考は面接が多かったので、その練習に力を入れました。

この仕事は会社の社長や経理の方と対等にお話ができることがやりがいとなっています。日頃からお客さまや職場の仲間のことを考えながら行動するように心がけています。



大手前短期大学

■開設年度 1951 (昭和 26) 年度

■所 在 地 兵庫県西宮市

■建学の精神 STUDY FOR LIFE(生涯にわたる、人生のための学び)

■設 置 学 科 ライフデザイン総合学科、医療事務総合学科、歯科衛生学科 (2023 年度)

印象に残る職場でのエピソード

上司から「家族があってこその自分がある。 自分を大切にする。」と言われたのはとても 印象に残っています。

お客さまにお勧めした金融商品の契約が初めて取れたときは、達成感ややりがいをすごく感じました。入庫して3年目になりますが、仕事で辛いと感じたことはなく、周りの方と仕事中は緊張感を持ちながらも、和やかな雰囲気で仕事に取り組んでいます。

仕事以外の空いている時間は、ドラマを見たり、ゆっくり睡眠することに充てています。



今も活かされている短期大学での学び

入庫してから現在も、簿記やパソコン、ビジネスマナーを学んだことは、とても役に立っています。

また、アナウンスゼミで学んだ「正しい発音」や「話し方」もお客さまとのコミュニケーションに生かすことができ、プレゼンテーションの時にも自信をもって話すことができています。

その他にも「TOEIC」など英語コミュニケーションの科目をとったことで、英語の会話にも慌てずに対応できることや医療事務の資格など、幅広い分野を学べたことで知識も増え、私の強みとなっています。

短期大学で学ぶ後輩たちへ! そして未来の私へ!

短期大学で学ぶ後輩には、何事もチャレンジすることで適切かどうかの判断がつくこともあるので、物事を最初から決めつけないで色々なことに挑戦して欲しいと思います。

私自身の目標は、家族を大切にしながら、 今後もたくさん知識をつけて、より多くのお 客さまに喜んでいただけるよう精進したいで す。

寄り添える保育者になりたい



白梅学園短期大学に決めた理由

白梅学園短期大学への進学は、母に「白梅学園がいいんじゃない?」とさりげなく言われた一言がきっかけです。その後、進路を考えるにあたって、人間を人間として重んじる、人間を尊重するヒューマニズムの精神や、学生と先生との仲の良さなどに惹かれて白梅学園短期大学への進学を決めました。

印象に残っている授業

ゼミナール活動や実習などもそうですが、「乳児保育」がとくに印象に残っている授業です。 担当教授の実際に経験したエピソードや現場 でよくある話を交えながら授業が進んでいたの で、「これはあの時の話だ!」と働きはじめて からその時の学びが結びついて授業の大事さを 実感しています。

また、幼稚園実習では、「おねえさん先生あ そば〜」と誘ってくれたことや責任実習でやっ た「しっぽ取り」を何度も楽しんでくれたこと が嬉しかったことです。

苦労したのは実習日誌の書き方について、それぞれの子に合わせての関わりを考えながら書くところが難しいと感じました。

小笠原 姫子 さん

白梅学園短期大学 保育科卒業

勤務先 新宿区立弁天町保育園

職 種 保育士 **勤務年数** 4年目

保育士の仕事ーやりがいと心がけー

小学生低学年のころは、幼稚園の先生に憧れていたのですが、次第に赤ちゃんに関われる仕事がしたいと思い保育士を選びました。

学生の時は、学校の授業をしっかりと受けて 学んだのはもちろん、公務員試験の面接対策な どをとくに頑張りました。

現在は、乳幼児保育(現在は1歳児クラス担任)、それに付随する指導計画の作成、担当行事の企画などが主な仕事です。

この仕事のやりがいは、子どもの成長をそばでみることができること、成長を保護者と一緒に喜べること、子どもの発想力や表現の面白さを間近で楽しめること、毎日ほっこりするエピソードに溢れていることなどです。

とくに心がけているのは、どんな時も明るく 元気でニコニコ笑顔でいること、そして誰にで も名前を呼んで挨拶することです。



白梅学園短期大学

■開設年度 1957 (昭和 32) 年度

■所 在 地 東京都小平市

■建学の精神 ヒューマニズムの精神

■設置学科 保育科

(2023年度)



印象に残る職場でのエピソード

他のクラスの先生方から「先生の気づかい出来るところ、ほんとにステキだよね。後輩にもこっそり教えてあげてね!」と褒めて頂いたことが今でも印象に残っています。また、「いつも笑顔で優しく子ども達に接していて、先生に安心してクラスの中でも子ども達を託していけました」と言われたことは、がむしゃらに頑張ってよかった、これからも頑張れると自信につながりました。

私のことをしっかりとみてくれてそれを言葉で伝えてくれる先輩方は、「ステキだな、いつかあんな先輩になりたい」と憧れの存在です。

時には辛いこともありました。2年目は子どもの様々なイヤイヤ期と経験不足が重なり自分自身の心に余裕がなくなり、あまり保育を楽しめず辛い時期でした。それでも0歳1歳と担任を持ち上がりで持つ中で、言葉を話す姿も増え、「しぇんしぇ」「せんせ」「ひめこせんせ」「ひめこ」など私のことを初めて呼んでくれた瞬間はどのシーンも忘れられない宝物です。何度も何度も呼んでくれる子どもの姿に癒されます。また、3月の終わりに担任をした子どもや、あまり関わりのない子ども、保護者がわざわざ「次は先生が担任だといいな」と言いに来てくれたことは嬉しくてたまらなかったエピソードです。

今も活かされている短期大学での学び

白梅学園では、わらべうたや手遊びなどだけでなく、保育の根本を学ぶことができました。 行き詰まった時には、それを振り返りながら考えることができています。

所属していたゼミナールでは、学生たち自身がやりたいこと、やってみたいことに挑戦し、自分自身が楽しむ経験を重ねることができました。子どもに応えるためには何を準備したら良いのかを考えたり、挑戦するワクワク感を体験したりした経験は、現場でも生かされています。

白梅学園の図書館にはたくさんの絵本が並んでおり、私は日々借りるのが日課でした。そこでたくさんの本と触れ合えたことは自身の感性を豊かにし、良い経験でした。

白梅学園の強みでもある学生と先生の仲の良さはずば抜けていると思います。卒業した今でも連絡を取り合える仲間がいることは本当に嬉しくて心の支えであり日々の活力です。定期的に会っては、相談をしあったり子どもの可愛い話に花を咲かせています。

短期大学で学ぶ後輩たちへ! そして未来の私へ!

実習や就職試験など辛い時もあると思いますが、まずは笑顔で元気に挨拶をすることで周りも貴方に引き込まれると思います。そして辛い時は1人で抱えず、友達や先生に話してください。一緒に考えるってとても大切です。

そして、今を大切に、やりたいことにはたく さん挑戦して自分自身が楽しむことを忘れない でください!現場でも必ず生きてくる力になり ます。

私自身の目標は、保育士として視野を広く持ち、一人ひとりの子ども、保護者に寄り添い、楽しさや難しさを共有できる保育者になることです。いつか保育者を目指す人に現場のことを伝え、寄り添える人にもなりたいです。

また、保育士として日々子ども達の可愛らしい素直な感性に触れることも多く、いつか子ども達のつぶやきやエピソードを集めてわたしだけの特別な本をつくりたいと思っています。

誇れる栄養士を目指して



広島文化学園短期大学に決めた理由

栄養指導をする上で、調理ができた方が良いと考えていたところ、「調理のできる栄養士」という食物栄養学科のキャッチフレーズにとても魅力を感じたことやオープンキャンパスでの先輩たちの調理を見て、私も先輩たちのようになりたいと思い進学を決めました。

保育園の栄養士になりたくて

栄養士を目指し始めた時、子どもが好きだったので保育園で働いてみたいと漠然と思っていました。キャリアセンターに足を運んだ際、給食室を直営する保育園の栄養士を募集する求人情報を見て、見学に行ってみようと思いました。食育活動にも力を入れている園だと知り、保育園の栄養士になりたいと思うようになりました。

直営の栄養士は調理も行うため、調理技術は必須と思い、実家暮らしでしたが、台所に立つ回数を増やし、アレルギーの園児がいた場合の対応や離乳食の調理の仕方なども教科書を読み返したり、参考書などを買って勉強したりしました。

高森 真歩 さん

広島文化学園短期大学 食物栄養学科卒業

勤務先 いつかいちちびっこの森保育園

職 種 栄養士 **勤務年数** 7年目

印象に残っている授業

調理実習(応用)で、2年間の成果を披露する目的でパーティーを開き、先生方をおもてなしした授業は特に印象深いです。「春よ、来い~和のおもてなし~」をテーマに3種類の膳を考え、提供しました。たくさんの先生方に来ていただいて、「美味しかった」と喜んでもらえたのが本当に嬉しかったです。

また、小学校実習にも行き、子ども達の前で 授業を行ったのは本当に緊張しましたし、分か りやすく伝える難しさを学びました。担当した クラスの子ども達から、最終日に歌のプレゼン トを貰った時はとても感激しました。

かけがえのない経験をした学生生活

学生自治会の会長をしたことは特に心に残っています。それまで人前で話をしたり、意見をまとめるのが苦手でしたが、スポーツ大会や謝恩会の準備などをしていくうちに、相手に分かりやすく伝える方法を学び、「楽しかった」「良かった」と喜んでもらえた時の達成感は今でも忘れられません。



広島文化学園短期大学

■開設年度 1964 (昭和39) 年度

■所 在 地 広島県広島市

■建学の精神 究理実践

■設 置 **学** 科 コミュニティ生活学科、食物栄養学科、保育学科

(2023年度)

仕事で感じる喜びと責任感

主な業務は、お昼ご飯やおやつの調理、食後の片付け・清掃、事務作業等を行っています。

お昼ご飯やおやつの後に「今日の魚美味しかった!!」など、食べた感想を言ってくれると参考になりますし、作って良かったと思います。また、園児が苦手な食材を食べることができた日には、その子以上に喜んでいます。

働く上で、コミュニケーションは何より大事にしています。アレルギー対応は絶対に間違えられませんし、発注する際も園児の人数をきちんと確認する必要があります。子どもは体調や気分で食事の喫食が変わることもあるので、園児のことをよく知っている保育士さんや保護者の方との連携を図っています。

印象に残る職場でのエピソード

ある時、保護者の方がいるにも関わらず、挨 拶をせずに帰った日がありました。それを見て いた先生から「給食の先生ではあるけれど、園 の職員であることを忘れないで」と言われまし た。挨拶もですが、園の行事にもただその場に いるのではなく、積極的に参加しようと決めた 一言でした。

また、妊娠中に、つわりが辛く食べ物の匂いで体調を崩してしまうことなどがありましたが、園児達がお腹を撫でながら「早く出ておいでえ〜」と話しかけてくれたのは微笑ましかったです。

ストレス解消法

食べることが好きなので美味しい物をたくさん食べたりします。2人の娘にかわいい服を買うのも楽しみの一つです。

家に帰ると母に戻るので、仕事は私になれる 時間だと思い、仕事自体が日々のストレス発散 になる時もあります。



今も生かされている短期大学での学び

調理技術は誰にも盗まれない自分自身の努力 の結果だと思います。今の職場での調理で 困ったことは正直ないと思います。

コミュニケーション能力は、先生方や友人、 他学科の方や地域の方との交流などで、話す力、 聞く力がついたと思います。

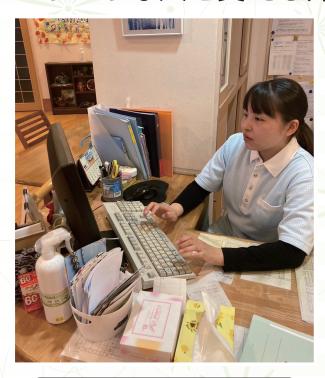
栄養士に必要なスキルだと思う発言力も、人前で話す機会が多かった私にはメリットだったと思います。

短期大学で学ぶ後輩たちへ! そして未来の私へ!

調理技術や知識を覚えることはとても大事なことです。また、日々の習慣や何気ない友人との会話も将来に活かせることはたくさんあると思います。勉強やアルバイトなど毎日忙しい日々を送られていると思いますが、今しかできないこともたくさんあると思いますので、悔いの残らないように学生生活を楽しんでほしいです。

私自身の目標としては、管理栄養士の資格はいつか取りたいです。この職場での保育補助をした経験から、保育現場に憧れを持ったため、保育士の資格も取りたいと思っています。今は2人の娘をもつ母として、家族に誇れる栄養士を目指します。

いろいろな人を支える介護福祉士として



介護福祉士を目指して

幼いころから近所のお年寄りの方と触れ合う機会が多く、人の役に立つ仕事をしたいと思っていました。また、介護福祉士として働く親から、仕事の話や利用者に感謝された話などを聞くうちに、将来は自分も介護福祉士の資格を取得し、介護を必要とする人々を支えていきたいと思うようになりました。

そのため、短期大学在学中は授業の合間や放課後の時間を使って、介護福祉士国家試験の過去問題集を毎日1時間以上は勉強するようにしていました。自宅だとどうしても勉強が捗らないので、友人と一緒に図書室をよく利用していました。

友人との思い出

短期大学で知識や経験以外に得たものは、大切な友人たちとのたくさんの思い出です。特に楽しかった思い出は「スポーツ大会」に参加したことです。オリジナルTシャツを作って長縄跳びやバスケットボールの試合に出場しました。あまり話したことのない同級生とも競技をする中で仲良くなり、試合の合間に写真をたくさん撮ったりしました。

白石 莉奈 さん

群馬医療福祉大学短期大学部 医療福祉学科福祉総合コース卒業

勤務先 特別養護老人ホーム 真ほろば

職種介護福祉士勤務年数4年目

群馬医療福祉大学短期大学部で学んで

高校生の時に受講した「介護職員初任者研修」でお世話になったのが、群馬医療福祉大学短期大学部の先生でした。その先生の雰囲気や、その後参加したオープンキャンパスで先輩に優しく接してもらったことが強く印象に残っていたので、進学の決め手となりました。

特に印象に残っている授業は、生活支援技術の実技で、実際に介護者役と利用者役の、両方の立場を体験でき、利用者の気持ちを理解するうえで貴重な経験となりました。

実習先では、初めて会う利用者の顔と名前を一致させて対応することの難しさを感じ、慣れるまでは苦労しました。緊張しながらも精一杯自分なりに介助を行った際、利用者から「ありがとうね。」と言ってもらえ、嬉しくなったことを今でも覚えています。

今も活かされている短期大学での学び

短期大学在学中の2年間、「環境美化活動」の委員として、ゴミ捨てや教室などの清掃の割り当てなどを委員会で決めたりしながら、キャンパス内の清掃活動をしていました。また、たくさんのボランティア活動に積極的に参加しました。デイサービスでの介助や障がい者スポーツ大会での補助などを経験し、そこで身についた礼儀作法や支援の仕方などは、現在の仕事にとても活かされていると思います。

群馬医療福祉大学短期大学部

■開設年度 1995 (平成7) 年度

■所 在 地 群馬県前橋市

■建学の精神 仁

■設置学科 医療福祉学科

(2023年度)

仕事での励みと大切にしている心がけ

現在の主な仕事は、利用者の日常生活全般の 介助や介護記録などです。利用者の中には耳が 聞こえにくい人もいるので、なるべく低い声で ゆっくりと話しかけるよう心がけています。そ れでも伝わらない時には、手や物を使ってジェ スチャーで伝えるなど工夫しています。

また、利用者とのやり取りなどを介護記録する際には、事細かに記録をするよう気を付けています。業務に追われていると入力し忘れてしまうこともあるので、必ずその都度メモを取るようにしています。

毎日、積極的に利用者とコミュニケーションをとることで、相手のことを深く知り、その人に合った介助をするように努力しています。利用者から感謝された時には「また明日も頑張ろう!」と励まされます。





印象に残る職場でのエピソード

日々仕事に追われる中、1 人で抱え込んでしまった時に上司から「自分が居なくても、この仕事はどうにかなるんだから、休むことも大切だよ。」と言われたことが印象に残っています。また別の日には利用者から、「ゆっくりやればいいんだから、とりあえず休みな。」と言ってもらえて心が軽くなりました。

今では、全てを自分でしようとせずに同僚に 頼れるようになりました。また、好きな音楽を 聴いたり、体を動かすなどしてリフレッシュす る時間も大切にしています。

短期大学で学ぶ後輩たちへ! そして未来の私へ!

後輩の皆さんには、短期大学で基礎的な知識をしっかり学んだ後に、実習やボランティア活動などを通して、実際の現場の様子を知ってから就職してほしいと思います。もちろん学生のうちは勉強だけではなく、趣味に没頭したり友人と遊ぶ時間も大切にしてください。

私自身の目標としては、1人でも多くの人に「この人に介護してもらえて良かった。」と思ってもらえるように、これからも日々学び続けていきたいと思います。

◆ 全国私立短期大学体育大会の廃止について ◆

短大協発05055号 令和5年11月16日

会員短期大学 理 事 長 殿 学 長 殿 事 務 局 長 殿 学生部(課)長 殿 体育担当者

日本私立短期大学協会 会 長 関 口



全国私立短期大学体育大会の廃止について(通知)

平素より日本私立短期大学協会の運営につきまして、格別のご高配を賜わり厚く 御礼申し上げます。

さて、本協会主催の全国私立短期大学体育大会(以下、「体育大会」という。)は、 短期大学のスポーツ振興や学生の健康増進と相互の親睦をはかることを目的に掲げ、 昭和41年より続く伝統ある大会として、大会名誉総裁にご皇族のご就任を賜わり 開催されてきました。

しかし、平成30年に開催した第53回体育大会後は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会等への対応のため休会となり、その後も新型コロナウイルス感染症のまん延により、引き続き休会しておりました。

休会の間、かねてより体育大会が抱えていた参加学生の減少や審判等の担い手不足、 多額の経費支出などの様々な課題に対する改善方策について、体育大会委員会におい て議論を重ねるとともに、会員校の学長及び担当教職員に向けて体育大会継続に関す る調査を行うなど、解決策の検討をしてまいりました。しかしながら、具体的な方策 を見いだすことができず、体育大会の継続は困難であり廃止もやむを得ないとの結論 に至り、別紙のとおり去る11月7日開催の令和5年度秋季定期総会にて、体育大会 の廃止についてご報告申し上げました。

全国の私立短期大学のご協力とご尽力のもと、これまで多くの学生が参加してきた 体育大会を廃止することは誠に残念ではございますが、事情をご賢察いただき、 ご理解を賜わりますようお願い申し上げます。

別紙

令和5年11月7日令和5年度秋季定期総会

日本私立短期大学協会 会員校各位

体育大会委員会 委員長 奥田吾朗

全国私立短期大学体育大会の廃止について

全国私立短期大学体育大会(以下、「体育大会」という。)は、かねてより参加学生の減少、審判等の担い手不足、多額の支出など様々な課題を抱えていたため、令和元年より本委員会にて改善方策を議論するとともに、会員校の学長及び担当教職員に向けて「体育大会継続に関する調査」を実施し、課題解決策の検討を行いました。しかし、別紙のとおり具体的な方策を見いだすことはできず、体育大会の継続は困難であり廃止もやむを得ないとの結論に至りました。令和3年4月に正副会長会にこの結論を報告しましたが、コロナ禍における判断は時期尚早であるとの考えから、廃止案は保留となりました。

令和5年5月より新型コロナウィルス感染症が2類相当から5類感染症に移行し、体育大会の再開について検討を求める声もありましたが、会員校の減少や物価高騰も加わり、体育大会の課題が解決する見通しは立たないため、廃止もやむを得ないという結論は現在も変わりがないことを、去る9月15日の正副会長会および理事会にてご報告いたしました。

全国の私立短期大学のご理解のもと、大会名誉総裁としてご皇族のご臨席を賜わり 開催されてきた伝統ある体育大会を廃止することは誠に残念ではございますが、事情 をご賢察いただき、本件につきましてご理解を賜わりますようお願い申し上げます。

全国私立短期大学体育大会の主な課題と検討結果

1. 参加校・参加学生が少ない

運動系の部活等への加入者が少なく活動自体も活発とは言えないため、各種目の 実力を競える学生が少ない。アルバイトに忙しい学生も多く、今後も運動系部活等へ の加入者が爆発的に増えるとは考えられず、参加者の増加は見込めない。

また、会員校のうち約2割しか参加しておらず、その参加校も開催地域の関東圏からが多い。開催地域以外からの参加は、旅費や宿泊費の負担が大きいため、地方大会についても検討したが、競技会場や審判の確保など担当地域の負担が大きく、実施は困難である。

2. 慢性的な多額の支出

体育大会の収支は収入が約500万円、支出が約1,300万円であり収支差額は約マイナス800万円である。その負担を軽減するため、経費削減や新たな資金獲得方策を探ってきたが、体育大会を安全に運営するためには今以上の削減は出来ず、また、継続的な資金調達の方法も見いだせなかった。

年々協会の収入が減少する中でのこれ以上の負担増加や、参加校からの参加費の 増額は現実的ではない上、物価高騰でさらに支出増加となることが推測される。

3. 猛暑期に激しい運動をする危険性

参加学生の安全を守るため夏季以外の開催を検討したが、授業や試験、実習等の 学事日程や就職活動を除く期間で、1年生と2年生がコミュニケーションを取って 試合に参加できるのが8月初旬しかなく、対応できない。

4. 各競技を運営する委員の担い手不足

会員校所属の競技経験者が減少しており、体育大会の種目である卓球、テニス、 ソフトテニス、バドミントン、バレーボール、バスケットボールの6競技をそれぞれ 担当できる経験を持つ人材を確保できない。

全国私立短期大学体育大会継続に関する調査結果(抜粋)

調査期間:令和2年11月25日(金)~12月15日(火)

調査対象:全会員校297校

(調査1)回答者:学長

回答校: 273校(回答率91.9%)

(調査2) 回答者: 教職員 (学生部課長もしくは体育大会の担当者)

回答校:279校280件(同短大の2キャンパスの回答含・回答率94%)

調査1・2共通設問

枠内に記載のとおり、当該体育大会は運営面で多くの課題を抱えています。これらの課題が改善できない場合は、廃止もしくは体育大会以外の行事への転換も視野に入れた検討が必要だと考えております。

- ◆ 全国私立短期大学体育大会の運営面における課題 ◆
- ・参加校が少ない(会員校の2~3割)
- ・参加者数が10年前の約半数に減少
- ・東京近県による開催のみとなり、関東圏以外の参加者が減少
- ・経費の6割が協会からの拠出金(慢性的な赤字)
- ・猛暑期に激しい運動をする危険性
- ・各競技を運営する委員の担い手不足

当該体育大会の課題を改善するためにはどのような見直しが考えられますか。 下記の内容で当てはまるものを選んでください。(複数回答可)

【回答結果】	学長	教職員
①競技種目の見直し	55	51
②開催時期・日程の見直し	93	94
③開催場所の見直し	93	110
④参加費の見直し	32	37
⑤開会式の在り方の見直し	15	18
⑥試合方法の見直し	17	18
⑦周知方法の見直し	39	40
⑧見直しが難しい場合は廃止	168	158
9その他	14	26

全国私立短期大学体育大会 第1回~第53回の記録

		卓球	ソフトテニス	バレーボール	ハ゛スケットホ゛ール	バドミントン		
回数			参加校数					
開催期日	男.子.			参加者数				
開催地				団体優勝校				
参加校数•参加者数				参加校数				
後援	女子			参加者数				
来賓			1	団体優勝校				
第 1 回		7 校	—		—	—		
昭和 41 年 8 月 2 日~4 日						—		
東京都駒沢競技場 他		富士	_	_	_	_		
70 余校 ・ 一		38 校	35 校	26 校	20 校			
文部省		_	_		_	<u>—</u>		
_		富士	松蔭	日本体育大学女子	日本体育大学女子	_		
第 2 回		8 校	4 校	2 校	2 校	_		
昭和 42 年 8 月 2 日~4 日								
兵庫県武庫川女大 他		富士	—					
80 余校 ・ 一		58 校	37 校	36 校	22 校	_		
文部省			—					
_		富士	武庫川女子	武庫川女子	市邨学園			
第 3 回		11 校	3 校	2 校	4 校	—		
昭和 43 年 8 月 1 日~3 日						—		
東京都駒沢競技場 他		鉄鋼						
96 校・ 1,600名		50 校	41 校	40 校	18 校	19 校		
文部省		—				—		
_		富士	桐丘女子	甲子園	市邨学園	新潟青陵女子		
第 4 回		10 校	6 校	6 校	5 校	_		
昭和 44 年 8 月 2 日 ~4 日								
東京都駒沢競技場 他		富士	—					
80 余校 ・ 一		50 校	37 校	29 校	20 校	15 校		
文部省			<u>—</u>	<u>—</u>	<u>—</u>	<u>—</u>		
常陸宮妃殿下	四	天王寺女子	東京女子体育	日本体育大学女子	市邨学園	新潟青陵女子		
第 5 回		14 校	7 校	7 校	4 校	_		
昭和 45 年 7 月 31 日~8 月 3 日			<u>—</u>	—	—	—		
中村学園 他	J.	広島商科	鉄鋼	鉄鋼	関東	—		
92 校・1,800 余名		35 校	33 校	34 校	17 校	15 校		
文部省・福岡県・福岡市			<u>—</u>	—	—			
三笠宮殿下、同妃殿下		富士	帝塚山学園	東京女子体育	市邨学園	東大阪		

helica o I		0 14	0 14	0 14	. 1-4-
第 6 回	13 校	6 校	8 校	8 校	4 校
昭和 46 年 7 月 31 日~8 月 3 日			—	_	
東京都駒沢競技場 他	昌平學	鉄鋼	鉄鋼	鉄鋼	鉄鋼
女 87 校・男 25 校	46 校	44 校	35 校	24 校	20 校
文部省					
三笠宮殿下、同妃殿下	富士	帝塚山	東京女子体育	市邨学園	日本女子体育
第 7 回	12 校	8 校	6 校	10 校	4 校
昭和 47 年 7 月 31 日~8 月 3 日	_	_	—	_	_
オリンピック記念体育館 他	久留米工業	鉄鋼	鉄鋼	鉄鋼	鉄鋼
女 72 校・男 18 校	31 校	32 校	30 校	20 校	19 校
文部省	—	—			—
三笠宮殿下	富士	帝塚山	池坊	市邨学園	東京女子体育
第 8 回	11 校	6 校	9 校	9 校	6 校
昭和 48 年 7 月 31 日~8 月 3 日	_	_		_	_
京都府立体育館 他	富士	鉄鋼	鉄鋼	酒田	青森
女 80 校・男 19 校	36 校	36 校	44 校	23 校	21 校
文部省・京都府・京都市		—			
三笠宮殿下、同妃殿下	富士	帝塚山	池坊	市邨学園	東京女子体育
第 9 回	14 校	7 校	8 校	12 校	6 校
昭和 49 年 7 月 27 日~30 日				_	
東京都駒沢体育館 他	富士	鉄鋼	鉄鋼	長野経済	東京農業
女 87 校・男 15 校	36 校	35 校	36 校	23 校	24 校
文部省		_			<u>—</u>
三笠宮殿下、同妃殿下	富士	帝塚山	池坊	市邨学園	日本女子体育
第 10 回	16 校	8 校	6 校	10 校	5 校
昭和 50 年 7 月 31 日~8 月 3 日		—			<u>—</u>
秋田県立体育館 他	鉄鋼	鉄鋼	関東	鉄鋼	鉄鋼
女 60 校 1,240 名•男 22 校 395 名	24 校	30 校	30 校	23 校	18 校
文部省・秋田県立教育委員会 他		—			—
常陸宮殿下、同妃殿下	富士	帝塚山	大阪成蹊女子	市邨学園	日本女子体育
第 11 回	11 校	8 校	12 校	14 校	7 校
昭和 51 年 7 月 27 日~30 日		—	—		—
東京都駒沢体育館 他	鉄鋼	日本大学工科	鉄鋼	鉄鋼	秋田
女 88 校 男 13 校・ 1,952 名	29 校	39 校	40 校	29 校	26 校
文部省	<u>—</u>	—	—		—
	富士	茨城キリスト	東京女子体育	市邨学園	日本女子体育

		 卓球	ソフトテニス	バレーボール	ハ゛スケットホ゛ール	バドミントン		
			<u>'</u>	参加校数		<u>.</u>		
開催期日	男.子		参加者数					
開催地	. 1			団体優勝校				
参加校数•参加者数	,		参加校数					
後援	女子			参加者数				
来賓				団体優勝校		1		
第 12 回		11 校	10 校	9 校	15 校	8 校		
昭和 52 年 7 月 28 日~31 日		66 名	78 名	98 名	159 名	40 名		
東京都駒沢体育館 他		秋田	日本大学	鉄鋼	鉄鋼	鉄鋼		
女 91 校 男 23 校・ 1,984 名		33 校	48 校	43 校	32 校	33 校		
文部省		200 名	390 名	458 名	287 名	208 名		
三笠宮殿下、同妃殿下、 宮野礼一体育局審議官	7	和洋女子	帝塚山	池坊	杉野女子	大妻女子		
第 13 回		9 校	10 校	8 校	16 校	8 校		
昭和 53 年 7 月 26 日~29 日		62 名	78 名	116 名	164 名	53 名		
兵庫県武庫川女子大 他		鉄鋼	武蔵野美術	産業能率	産業能率	富士		
女 221 チ―ム男 61 チ―ム・2,416 名		42 校	45 校	44 校	44 校	35 校		
文部省・兵庫県教育委員会		282 名	416 名	485 名	497 名	236 名		
三笠宮殿下、同妃殿下		富士	帝塚山	池坊	杉野女子	大妻女子		
第 14 回		11 校	9 校	11 校	18 校	9 校		
昭和 54 年 8 月 2 日 ~5 日		73 名	94 名	113 名	188 名	67 名		
東京都駒沢体育館 他	-	北都工業	鉄鋼	産業能率	産業能率	鉄鋼		
128 校・2,781 名		41 校	53 校	57 校	47 校	47 校		
文部省		306 名	486 名	598 名	521 名	335 名		
三笠宮殿下、同妃殿下、奥村廣重体育官		富士	帝塚山	池坊	市邨学園	秋田		
第 15 回		12 校	12 校	12 校	20 校	11 校		
昭和 55 年 7 月 31 日~8 月 3 日		73 名	107 名	116 名	199 名	76 名		
名古屋女子大学 他	7	公商学園	鉄鋼	法政大学	鉄鋼	鉄鋼		
128 校・3,136 名		54 校	55 校	60 校	57 校	45 校		
文部省・愛知県・名古屋市	<u> </u>	355 名	505 名	692 名	647 名	366 名		
三笠宮殿下、同妃殿下、奥村廣重体育官		富士	山形女子	池坊	市邨学園	大妻女子		
第 16 回		8 校	9 校	7 校	19 校	12 校		
昭和 56 年 7 月 28 日~31 日		46 名	66 名	77 名	191名	79 名		
東京都駒沢体育館 他		鉄鋼	鉄鋼	日本大学	東京農業	名古屋造形芸術		
130 校・3,330 名		50 校	49 校	64 校	52 校	56 校		
文部省		402 名	528 名	838 名	704 名	398 名		
三笠宮殿下、同妃殿下、高石邦男体育局長	<u> </u>	富士	帝塚山	嘉悦女子	杉野女子	秋田		

第 17 回	10 校	9 校	8 校	14 校	9 校
昭和 57 年 7 月 28 日~31 日	51 名	72 名	88 名	177 名	67 名
宇部短期大学 他	鉄鋼	鉄鋼	日本大学	東京農業	名古屋造形芸術
126 校・3,554 名	49 校	56 校	67 校	54 校	55 校
文部省・山口県・宇部市・山口市	366 名	535 名	963 名	784 名	488 名
三笠宮殿下、同妃殿下、島田治体育局審議官	別府女子	帝塚山	嘉悦女子	杉野女子	秋田
第 18 回	6 校	5 校	8 校	16 校	9 校
昭和 58 年 7 月 27 日~30 日	39 名	48 名	88 名	164 名	56 名
東京都駒沢体育館 他	鉄鋼	鉄鋼	鉄鋼	新潟工業	鉄鋼
128 校・2,949 名	46 校	47 校	63 校	53 校	63 校
文部省	254 名	403 名	787 名	671 名	439 名
三笠宮殿下、同妃殿下、石井久夫体育局審議官	富士	帝塚山	嘉悦女子	市邨学園	秋田
第 19 回	9 校	6 校	8 校	12 校	11 校
昭和 59 年 7 月 30 日~8 月 2 日	31 名	39 名	91 名	133 名	70 名
札幌市立中央体育館 他	東京農業	鉄鋼	鉄鋼	新潟工業	東京農業
106 校・2,323 名	38 校	43 校	52 校	41 校	52 校
文部省・北海道・札幌市	202 名	324 名	614 名	503 名	315 名
三笠宮殿下、同妃殿下、石井久夫体育局審議官	富士	淑徳	嘉悦女子	園田学園女子	北海道女子
第 20 回	5 校	3 校	6 校	16 校	11 校
昭和 60 年 7 月 30 日~8 月 2 日	26 名	28 名	61 名	160 名	64 名
東京都駒沢体育館 他	鉄鋼	東京農業	鉄鋼	新潟工業	北海道自動車
132 校·2,949 名(男 339 名/女 2,610 名)	39 校	47 校	71 校	57 校	60 校
文部省	206 名	370 名	902 名	730 名	402 名
三笠宮殿下、同妃殿下、古村澄一体育局長	富士	山形女子	嘉悦女子	日本女子体育	北海道女子
第 21 回	8 校	3 校	6 校	11 校	10 校
昭和 61 年 7 月 30 日~8 月 2 日	39 名	22 名	63 名	117 名	65 名
郡山市総合体育館 他	鉄鋼	鉄鋼	東京農業	新潟工業	北海道自動車
113 校•2,715 名(男 306 名/女 2,409 名)	43 校	48 校	58 校	51 校	58 校
文部省·福島県·郡山市·郡山市教育委員会	240 名	358 名	736 名	665 名	410 名
三笠宮殿下、同妃殿下、 澤田道也大臣官房審議官	富士	松蔭女子	嘉悦女子	杉野女子	北海道女子
第 22 回	6 校	4 校	7 校	13 校	13 校
昭和 62 年 7 月 29 日~8 月 1 日	35 名	28 名	69 名	125 名	73 名
東京都日本体育大学体育館 他	鉄鋼	鉄鋼	関西外国語	新潟工業	北海道自動車
131 校・4,290 名(男 474 名/女 3,816 名)	39 校	52 校	79 校	64 校	62 校
文部省	215 名	383 名	985 名	830 名	399 名
三笠宮殿下、同妃殿下、國分正明体育局長	富士	松蔭女子学院	嘉悦女子	日本女子体育	秋田

			ソフトテニス	バレーボール	バスケットボール	バドミントン				
回数	н			参加校数		1				
開催期日	男子		参加者数							
開催地	Ň		団体優勝校							
参加校数·参加者数 後援	女		参加校数							
後後 来賓	子.		参加者数 団体優勝校							
第 23 回		9 校	6 校	10 校	15 校	14 校				
昭和 63 年 8 月 8 日~11 日		29 名	28 名	99 名	153 名	43 名				
大阪区立体育館 他	Ī.		産業技術	関西外国語	新潟工業	北海道自動車				
140 校・2,954 名(男 372 名/女 2,582 名)		35 校	51 校	77 校	72 校	61 校				
文部省·大阪府·大阪府教育委員会·大阪市· 吹田市·長岡京市		165 名	336 名	846 名	791 名	359 名				
三笠宮殿下、坂元弘直体育局長		富士	松蔭女子学院	嘉悦女子	A 大阪薫英女子 B 滋賀女子	北海道女子				
第 24 回		7 校	6 校	13 校	17 校	14 校				
平成元年8月1日~4日		28 名	28 名	129 名	176 名	67 名				
東京都日本体育大学体育館 他	Ī	産業技術	豪雨のため中止	産業技術	新潟工業	長野経済				
147 校・3,202 名(男 428 名/女 2,774 名)		37 校	52 校	87 校	69 校	71 校				
文部省・東京都		196 名	372 名	972 名	751 名	483 名				
三笠宮殿下、同妃殿下、下宮進体育課長	5	別府女子	豪雨のため中止	嘉悦女子	A 日本女子体育 B 金沢女子	東海女子				
第 25 回		3 校	3 校	13 校	16 校	16 校				
平成2年7月29日~8月1日		14 名	24 名	130 名	162 名	81 名				
東京体育館 他	豆	体戦不成立	産業技術	北海道拓殖	新潟工業	産業技術				
154 校•3,426名(男 411名/女 3,015名)		35 校	46 校	94 校	78 校	72 校				
文部省・東京都		195 名	320 名	1,049 名	1,014 名	437 名				
三笠宮殿下、同妃殿下、 吉田茂大臣官房審議官		富士	関西外国語	嘉悦女子	A 日本女子体育 B 白鷗女子	武庫川女子				
第 26 回		4 校	5 校	14 校	15 校	16 校				
平成3年7月29日~8月1日		11 名	26 名	138 名	165 名	71 名				
兵庫県立総合体育館 他	豆	体戦不成立	産業技術	産業技術	新潟工業	産業技術				
155 校・3,653 名(男 411 名/女 3,242 名)		35 校	42 校	95 校	83 校	76 校				
文部省·兵庫県·兵庫県教育委員会·尼崎市教育 委員会·西宮市教育委員会·宝塚市教育委員会		188 名	343 名	1,078 名	1,091 名	542 名				
三笠宮殿下、同妃殿下、 逸見博昌文部省体育局長		富士	関西外国語	嘉悦女子	A 大阪女子 B 園田学園女子	武庫川女子				
第 27 回		8 校	4 校	13 校	19 校	13 校				
平成4年8月4日~8月7日		23 名	8 名	132 名	226 名	80 名				
福岡市民体育館 他	Ē	産業技術	団体不成立	産業技術	新潟工業	龍谷大学				
165 校・3,862 名(男 469 名/女 3,393 名)		37 校	44 校	111 校	93 校	69 校				
文部省·福岡県·福岡市· 福岡県教育委員会·福岡市教育委員会		185 名	342 名	1,234 名	1,181 名	451 名				
高円宮殿下、同妃殿下、 石川晋体育局審議官		富士	関西外国語	嘉悦女子	A 日本女子体育 B 熊本	武庫川女子				

Γ	1			ı	ジフトコ	I	I	
		卓球	ソフトテニス	バレーボール	バスケット ボール	バドミントン	テニス	
回数	H	参加校数						
開催期日	男	参加者数						
開催地	,		団体優勝校					
参加校数•参加者数	女		参加校数					
	子				加者数			
来賓				1	優勝校	ı	ı	
第 28 回		1 校	3 校	23 校	31 校	21 校	12 校	
平成5年8月2日~5日		3 名	28 名	234 名	302 名	100 名	76 名	
東京体育館 他		業技術	産業技術	信州	新潟工業	龍谷大学(部)	新潟工業	
195 校•4,832 名(男 769 名/女 4,063 名)	ļ	0 校	37 校	123 校	109 校	89 校	64 校	
文部省・東京都	2	20 名	302 名	1,380 名	1,467 名	634 名	445 名	
高円宮殿下、同妃殿下、 石川晋体育局審議官	:	淑徳	関西外国語	A 嘉悦女子 B1 中京 B2 東海女子	A 日本女子体育 B1 豊田 B2 日本体育女子	武庫川女子	神戸学院女子	
第 29 回		7 校	8 校	18 校	24 校	22 校	10 校	
平成6年7月29日~8月1日	3	2 名	38 名	179 名	296 名	122 名	70 名	
山形市総合スポーツセンター 他		富士	産業技術	信州	新潟工業	龍谷大学(部)	新潟工業	
159 校・4,392 名(男 737 名/女 3,655 名)	3	10 校	33 校	96 校	85 校	72 校	53 校	
文部省·山形県·山形市·上山市·天童市·山形県教育委員会· 山形市教育委員会·上山市教育委員会·天童市教育委員会	1	57 名	242 名	1,150 名	1,184 名	547 名	375 名	
岡崎トシ子政務次官		淑徳	関西外国語	A 嘉悦女子 B1 山形女子 B2 豊田	A 日本好子体育 B1 武蔵丘 B2 白鷗女子	東海女子	神戸学院女子	
第 30 回		5 校	6 校	17 校	29 校	26 校	16 校	
平成7年7月25日~28日	2	9 名	40 名	157 名	348 名	124 名	86 名	
広島県立総合体育館 他	産	 業技術	産業技術	信州	新潟工業	龍谷大学(部)	産業技術	
155 校・4,069 名(男 784 名/女 3,285 名)	3	1 校	31 校	90 校	83 校	73 校	59 校	
文部省·広島県·広島市·広島県教育委員会·広島市教育委員会· 側広島県体育協会・ 側広島市体育協会・ 側広島県教育事業団・ 側広島市体育振興事業団	1	63 名	227 名	1,003 名	1,048 名	472 名	372 名	
高円宮殿下、同妃殿下、 小林敬治体育局長	:	淑徳	山形女子		A 日本女子体育 B1 聖カタリナ女子 B2 奈良文化女子	東海女子	東海学園女子	
第 31 回	1	.0 校	6 校	14 校	35 校	26 校	19 校	
平成8年7月30日~8月2日	4	4 名	43 名	145 名	404 名	144 名	116 名	
青山学院記念館 他		信州	松商学園	信州	新潟工業	産業技術	産業技術	
184 校•4,622 名(男 896 名/女 3,726 名)	2	8 校	34 校	106 校	93 校	78 校	73 校	
文部省、東京都	1	33 名	242 名	1,155 名	1,125 名	563 名	508 名	
高円宮殿下、同妃殿下、 日下部禧代子政務次官		富士	関西外国語大学(部)	B1 佐賀女子	A 関外国际学部 B1 神祭「大学部) B2 佐賀女子	龍谷大学(部)	大阪国際女子	
第 32 回		4 校	3 校	18 校	36 校	25 校	19 校	
平成9年7月29日~8月1日	2	!7 名	17 名	156 名	420 名	119 名	121 名	
愛知県体育館 他	産	業技術	産業技術	産業技術	新潟工業	産業技術	聖泉	
174 校・4,324 名(男 860 名/女 3,464 名)	2	26 校	32 校	102 校	86 校	80 校	69 校	
文部省·愛知県·名古屋市· 愛知県教育委員会·名古屋市教育委員会	1	31 名	220 名	1,120 名	1,017 名	523 名	453 名	
高円宮殿下、同妃殿下、 佐田玄一郎政務次官		富士	関西外国語大学(部)		A 豊田 B1 大垣女子 B2 樟蔭東女子	東海女子	折尾女子経済	

	4+1	U-1	.31 .32 .1	バスケット	، دا، ددوای	=		
	卓球	ソフトアニス	バレーボール	ボール	バドミントン	テニス		
回数 	男	参加校数						
開催期日	子	参加者数						
開催地		団体優勝校						
参加校数·参加者数 後援	女	参加校数 参加者数						
	子			加有				
第 33 回	9 校	5 校	16 校	38 校	21 校	15 校		
平成 10 年 7 月 28 日~31 日	41 名	23 名	154 名	445 名	98 名	89 名		
一一一			武蔵丘		北海道自動車			
159 校•4,035 名(男 875 名/女 3,160 名)	19 校	31 校	92 校	91 校	69 校	62 校		
文部省・東京都・横浜市教育委員会・		31 1X	32 1X	31 1X	03 12	02 18		
川崎市教育委員会	98 名	208 名	969 名	1,048 名	446 名	412 名		
高円宮殿下、同妃殿下、 狩野安政務次官	富士	関西外国語大学(部)	A 嘉悦女子 B1 松蔭女子 B2 尚絅女学院	A 樟蔭東女子 B1 常磐会 B2 西南女学院	東海女子	折尾女子経済		
第 34 回	8 校		18 校	41 校	18 校	17 校		
平成 11 年 8 月 2 日~5 日	38 名		154 名	432 名	88 名	97 名		
大阪城ホール他	産業技術		武蔵丘	新潟工業	金沢学院	産業技術		
161 校・3,898 名(男 809 名/女 3,089 名)	23 校	32 校	89 校	86 校	66 校	65 校		
文部省·大阪府·大阪府教育委員会· 大阪市教育委員会·枚方市教育委員会	139 名	196 名	902 名	1,013 名	411 名	428 名		
高円宮殿下、同妃殿下、 森田健作政務次官	富士	滋賀女子		A 樟蔭東女子 B1 大阪国際女子 B2 徳山女子	尚美学園	関西外国語大学(部)		
第 35 回	9 校	6 校	19 校	36 校	20 校	16 校		
平成 12 年 8 月 1 日~4 日	22 名	32 名	161 名	392 名	92 名	99 名		
駒沢オリンピック公園運動場体育館他	産業技術	産業技術	信州	新潟工業	金沢学院	産業技術		
149 校・3,495 名(男 798 名/女 2,697 名)	19 校	21 校	84 校	82 校	63 校	49 校		
文部省・東京都	81 名	135 名	860 名	890 名	405 名	326 名		
高円宮殿下、同妃殿下、 大島理森文部大臣	富士	滋賀女子	A 嘉悦女子 B1 樹始紫紫鄉 B2 金蘭	A 滋賀女子 B1 常葉学園 B2 兵庫大学(部)	東海女子	関西外国語大学(部)		
第 36 回	6 校	6 校	16 校	32 校	23 校	16 校		
平成 13 年 7 月 31 日~8 月 3 日	26 名	24 名	133 名	320 名	106 名	102 名		
ワ―ルド記念ホ―ル他	産業技術	産業技術	信州	新潟工業	龍谷大学(部)	東海大学(部)		
137 校・3,169 名(男 711 名/女 2,458 名)	14 校	24 校	79 校	74 校	56 校	48 校		
文部科学省·兵庫県·兵庫県教育委員会·神戸市教育委員会·尼崎市教育委員会・西宮市教育委員会	62 名	143 名	810 名	785 名	355 名	303 名		
高円宮殿下、同妃殿下、 岸田文雄文部科学副大臣	淑徳	滋賀女子		A 滋賀女子 B1 樟蔭東女子 B2 横浜女子	東海女子	大谷女子		
第 37 回	9 校	4 校	13 校	33 校	24 校	19 校		
平成 14 年 7 月 29 日~8 月 1 日	28 名	12 名	123 名	327 名	99 名	81 名		
駒沢オリンピック公園運動場体育館他	産業技術	—	信州	新潟工業	龍谷大学(部)	産業技術		
128 校·2,975 名(男 670 名/女 2,305 名)	15 校	26 校	65 校	70 校	64 校	43 校		
文部科学省·東京都·川崎市教育委員会· 小田原市教育委員会	72 名	147 名	690 名	757 名	380 名	259 名		
高円宮殿下、同妃殿下、 池坊保子文部科学大臣政務官	東京富士大学部)	滋賀女子	B1 大谷女子	A 秋草学園 B1 千葉敬愛 B2 尚絅女学院		相愛女子		

第 38 回	6 校	5 校	12 校	28 校	23 校	19 校
平成 15 年 7 月 29 日~8 月 1 日	28 名	26 名	115 名	290 名	98 名	74 名
駒沢オリンピック公園運動場体育館他	産業技術	産業技術	信州	信州	龍谷大学(部)	産業技術
119 校•2,748 名(男 631 名/女 2,117 名)	14 校	19 校	57 校	64 校	56 校	41 校
文部科学省·東京都·川崎市教育委員会· 小田原市教育委員会	70 名	123 名	607 名	716 名	361 名	240 名
大野松茂文部科学大臣政務官	東京富士大学部)	関西外国語大学(部)	A 嘉悦大学(部) B1 山形 B2 时4精大学子	A 長野経済 B1 愛媛女子 B2 青山学院女子	東海女子	関西外国語大学(部)
第 39 回	7 校	4 校	13 校	24 校	25 校	24 校
平成 16 年 8 月 3 日~6 日	24 名	23 名	129 名	257 名	117 名	104 名
東海大学付属高輪台高等学校アリーナ他	産業技術	産業技術	信州	産業技術	武蔵丘	産業技術
116 校•2,837 名(男 654 名/女 2,183 名)	12 校	16 校	65 校	60 校	59 校	46 校
文部科学省·東京都·川崎市教育委員会· 小田原市教育委員会	50 名	124 名	683 名	691名	358 名	277 名
高円宮妃殿下、 小野晋也文部科学副大臣	東京富士大学部)	千里金蘭大学部》	A 嘉悦大学部 B1 大阪女子 B2 育英	A 大妻好大学部) B 武蔵丘	滋賀女子	武庫川女子大学部
第 40 回	10 校	4 校	12 校	33 校	26 校	22 校
平成 17 年 8 月 1 日~4 日	34 名	18 名	116 名	309 名	112 名	127 名
東京体育他	産業技術	産業技術	信州	産業技術	龍谷大学(部)	関西外国語大学(部)
114 校•2,894 名(男 716 名/女 2,170 名)	13 校	21 校	56 校	63 校	55 校	48 校
文部科学省·東京都·川崎市教育委員会· 小田原市教育委員会	58 名	164 名	580 名	712 名	365 名	291 名
高円宮妃殿下、 小泉顕雄文部科学大臣政務官	東京富士大学部)	千里金蘭大学部)	A 嘉悦大学(部) B1 時精/学子部 B2 高松	A 奈良文化 B 羽陽学園	東海女子	武庫川女子大学部
第 41 回	7 校	4 校	13 校	29 校	24 校	18 校
平成 18 年 8 月 1 日~4 日	35 名	18 名	121 名	287 名	121 名	77 名
東京体育館他	産業技術	産業技術	信州	産業技術	龍谷大学(部)	産業技術
96 校•2,641 名(男 659 名/女 1,982 名)	14 校	18 校	54 校	54 校	48 校	43 校
文部科学省·東京都·川崎市教育委員会· 小田原市教育委員会	73 名	155 名	547 名	599 名	312 名	296 名
高円宮妃殿下、 吉野正芳文部科学大臣政務官	東京富士大学部)	千里金蘭大学部)	A 愛媛女子 B1 東海女子 B2 東海大学福岡	A 愛媛女子 B 千難踏大学部	東海女子	関西外国語大学(部)
第 42 回	5 校	3 校	12 校	29 校	24 校	18 校
平成 19 年 8 月 6 日~9 日	50 名	36 名	111 名	311 名	160 名	107 名
東京体育館他	山形	産業技術	信州	新潟工業	龍谷大学(部)	産業技術
101 校・3,259 名(男 775 名/女 2,484 名)	19 校	18 校	57 校	55 校	49 校	36 校
文部科学省·東京都·川崎市教育委員会· 小田原市教育委員会	189 名	261 名	565 名	605 名	525 名	339 名
高円宮妃殿下、銭谷眞美文部科学事務次官、細井優東京都生活文化スポーツ局スポーツ振興部長	東京富士大学部)	千里金蘭大学部》	A 武蔵丘 B1 湘北 B2 修紅	A 愛媛女子 B 桐生	東海女子	大阪城南女子
第 43 回	7 校	5 校	9 校	26 校	19 校	21 校
平成 20 年 8 月 5 日~8 日	55 名	18 名	80 名	255 名	114 名	131 名
東京体育館他	山形	団体戦不成立	信州	新潟工業	龍谷大学(部)	産業技術
90 校•2,930 名(男 653 名/女 2,277 名)	16 校	21 校	48 校	54 校	44 校	37 校
文部科学省·東京都·小田原市教育委員会	157 名	243 名	505 名	612 名	436 名	324 名
高円宮妃殿下、承子女王殿下、 原田令嗣文部科学大臣政務官	東京富士大学部)	滋賀	A 愛媛女子 B1 信州 B2 嶼聽飄烊腳	A 奈良文化女子 B 近畿大学九州	東海学院大学(部)	大阪城南女子

		卓球	ソフトニーフ	バレーボール	バスケット	バドミントン	テニス			
F-1 347 .		早邓	フノトソ ー ハ	·	ボール	ハレミントン	ソー人			
回数 開催期日	男		参加校数 参加者数							
開催地	子									
参加校数・参加者数	_		参加校数							
後援	女子		参加者数							
来賓	,			団体	優勝校	1				
第 44 回		8 校	6 校	18 校	16 校	18 校	16 校			
平成 21 年 8 月 3 日~6 日		44 名	24 名	124 名	161 名	124 名	101 名			
東京体育館他	団	体戦不成立	団体戦不成立	信州	新潟工業	滋賀	松山			
85 校・2,513 名(男 519 名/女 1,994 名)		16 校	24 校	41 校	44 校	41 校	29 校			
文部科学省·東京都·小田原市教育委員会		131 名	295 名	364 名	496 名	364 名	232 名			
高円宮妃殿下、承子女王殿下、 布村幸彦文部科学省スポーツ・青少年局長	東	京富士大学部)	滋賀	A 愛媛女子 B1 北道武蔵子 B2 高松	A 奈良文化女子 B 近畿大学九州	東海学院大学(部)	折尾愛真			
第 45 回		9 校	3 校	7 校	19 校	11 校	12 校			
平成 22 年 8 月 9 日~12 日		62 名	8 名	72 名	175 名	84 名	73 名			
東京体育館 他		湘北	団体戦不成立	信州	新潟工業	滋賀	松山			
85 校•2,446 名(男 474 名/女 1,972 名)		13 校	15 校	48 校	45 校	48 校	26 校			
文部科学省·東京都·川崎市教育委員会 ·小田原市教育委員会		91 名	192 名	521 名	498 名	421 名	249 名			
高円宮妃殿下、川端達夫文部科学大臣	東	京富士大学部)	滋賀	A 愛媛女子 B1 東京女子体育 B2 鵡 岐子大学	A 奈良文化女子 B 新潟青陵大学(部)	東海学院大学(部)	折尾愛真			
第 46 回		6 校	4 校	7 校	16 校	18 校	8 校			
平成 23 年 8 月 8 日~11 日		49 名	14 名	68 名	147 名	80 名	44 名			
東京体育館他		湘北	団体戦不成立	信州	新潟工業	滋賀	産業技術			
83 校・2,286 名(男 402 名/女 1,884 名)		7 校	21 校	46 校	48 校	40 校	25 校			
文部科学省・東京都・川崎市・小田原市		87 名	199 名	486 名	495 名	407 名	209 名			
高円宮典子女王殿下、 鈴木寛文部科学副大臣	東	京富士大学部)	大阪芸術大学(部)	A 愛媛女子 B 北海道武蔵女子	A 奈良文化女子 B 和泉	東海学院大学(部)	折尾愛真			
第 47 回		4 校	5 校	4 校	16 校	15 校	7 校			
平成 24 年 8 月 6 日~9 日		29 名	36 名	36 名	148 名	81 名	42 名			
駒沢オリンピック公園総合運動場体育館他	団	体戦不成立	産業技術	佐久大学信州(部)	新潟工業	滋賀	産業技術			
76 校•2,065 名(男 392 名/女 1,693 名)		9 校	21 校	46 校	43 校	32 校	20 校			
文部科学省・東京都		79 名	210 名	470 名	462 名	339 名	133 名			
高円宮典子女王殿下、 平野博文文部科学大臣	東	京富士大学部)	滋賀	A 鵡顺子烷腳 B 大阪女子	A 奈良文化女子 B 愛知学泉	滋賀	日本体育大学女子鸽			
第 48 回		4 校	8 校	3 校	16 校	14 校	6 校			
平成 25 年 8 月 5 日~8 日		23 名	57 名	25 名	144 名	101 名	42 名			
東京体育館 他			中九州	産業技術	新潟工業	産業技術	産業技術			
78 校・1,986 名(男 392 名/女 1,594 名)		10 校	14 校	43 校	44 校	40 校	20 校			
文部科学省・東京都		66 名	149 名	443 名	457 名	359 名	120 名			
高円宮典子女王殿下、 義家弘介文部科学大臣政務官、		佐野	滋賀	A 大阪女子 B 修紅	A 奈良文化女子 B 拓殖大学北海道	武庫川女子大学部)	折尾愛真			

第 49 回	6 校	5 校	4 校	17 校	14 校	7 校
平成 26 年 9 月 1 日~4 日	47 名	38 名	30 名	146 名	116 名	48 名
駒沢オリンピック公園総合運動場体育館他	東北文教大学部)		産業技術	産業技術	産業技術	産業技術
76 校・1,802 名(男 425 名/女 1,377 名)	11 校	10 校	39 校	40 校	30 校	16 校
文部科学省・東京都	79 名	99 名	405 名	410 名	279 名	105 名
高円宮妃殿下、 櫻田義孝文部科学副大臣	佐野	大阪芸術大学(部)	A 滋賀 B 関西女子	A 奈良学園大学 奈良文化女子大学部 B 新潟青陵大学(部)	滋賀	折尾愛真
第 50 回	7 校	5 校	3 校	12 校	15 校	4 校
平成 27 年 8 月 3 日~6 日	41 名	14 名	30 名	108 名	73 名	34 名
駒沢オリンピック公園総合運動場体育館他	—	—	産業技術	新潟工業	湘北	産業技術
67 校・1,728 名(男 300 名/女 1,428 名)	10 校	10 校	36 校	35 校	28 校	17 校
文部科学省·東京都	70 名	123 名	391 名	408 名	284 名	152 名
高円宮妃殿下、 丹羽秀樹文部科学副大臣	中京学院大学中京(部)	滋賀	A 滋賀 B 鵡川好大学(部)	A 奈良学園大学 奈良文化女子大学部 B 淑徳大学(部)	滋賀	折尾愛真
第 51 回	7 校	3 校	4 校	8 校	17 校	8 校
平成 28 年 8 月 8 日~11 日	29 名	20 名	43 名	79 名	70 名	48 名
東京体育館 他	—		産業技術	産業技術	富山	産業技術
70 校・1,775 名(男 289 名/女 1,486 名)	10 校	15 校	37 校	40 校	32 校	19 校
スポ―ツ庁・東京都	88 名	126 名	399 名	443 名	277 名	153 名
高円宮妃殿下、絢子女王殿下、 水落敏栄文部科学副大臣	中京学院大学中京(部)	滋賀	A 大阪女子 B 和泉	A 近畿大学九州 B 岡崎女子	滋賀	折尾愛真
第 52 回	8 校	2 校	—	11 校	12 校	3 校
平成 29 年 8 月 7 日~10 日	30 名	16 名		109 名	74 名	26 名
駒沢オリンピック公園総合運動場体育館他	_			新潟工業	修文大学(部)	
62 校・1,564 名(男 255 名/女 1,309 名)	10 校	13 校	34 校	37 校	38 校	11 校
スポ―ツ庁・東京都	77 名	115 名	359 名	385 名	270 名	103 名
高円宮妃殿下、林芳正文部科学大臣	山陽学園	滋賀	A 武蔵丘 B 大阪成蹊	A 拓輔大学北海道 B 千葉敬愛	滋賀	折尾愛真
第 53 回	5 校	—	2 校	11 校	11 校	6 校
平成 30 年 8 月 6 日 ~ 9 日	48 名		20 名	101 名	81 名	37 名
駒沢オリンピック公園総合運動場体育館他	産業技術		団体戦不成立	新潟工業	拓殖大学北海道	折尾愛真
63 校・1,499 名(男 287 名/女 1,212 名)	9 校	10 校	34 校	32 校	31 校	11 校
スポーツ庁・東京都	63 名	110 名	318 名	349 名	277 名	95 名
高円宮妃殿下、 丹羽秀樹文部科学副大臣	山村学園	滋賀	A 武蔵丘 B 高松	A 拓殖大学北海道 B 青山学院女子	武庫川女子大学部)	折尾愛真

地域貢献と教育の機会均等の実現

~ 私立短期大学 ~

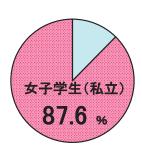
令和5年12月版

☆教育による地方貢献を通して「地方創生」に寄与する ☆すべての国民に高等教育を受ける場を提供する

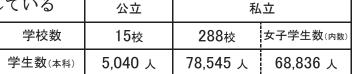
◇ 短期大学の約95%は私立短期大学であり、全国に幅広く分布

■女子の短期高等教育機関として貢献している



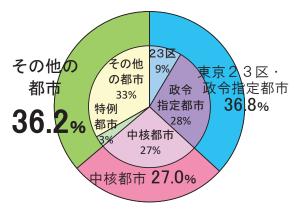


- ■大都市以外の地方中小都市にも 多く設置されている
- ■短期大学卒業生には、短期大学士 の学位が授与される
- ■第三者評価機関により、教育の質が保証されている



出典:令和5年度学校基本調査

【私立短期大学所在都市規模別分布】



出典: 令和4年度全国短期大学一覧、令和4年度日本私立短期大学協会会員校調べ

◇ 多様な人材を養成

【 私立短期大学の分野別学生数の割合 】 その他 人文 8.0 % 8.7 % 芸術 社会 10.6 % 教養・工業・農業 4.5 % 教育 保健 10.0 % **34.9** % 家政 18.2 % 出典:令和5年度学校基本調査

- ■教養教育と専門教育の 適度なバランスのとれた教育課程
- ■少人数教育・担任制度などの きめ細かい学生支援
- ■幼稚園教諭・保育士等を養成する 教育分野で学ぶ学生が約4割を占める

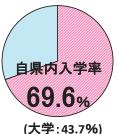
◇ 地域に根ざした高等教育機関

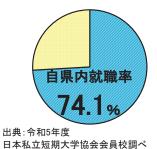
■自県内の入学率および就職率が高く、地元志向が強い



- ○自宅通学が可能
- ○修業期間が短いため学費の負担が低廉
- ○地元企業等への就職を意識した キャリア教育や進路指導

■地域コミュニティとしての役割





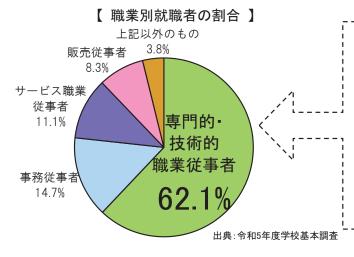
(入子:43.7%

出典:令和5年度学校基本調査

- ○地域のニーズに対応した生涯学習プログラムの実施
- ○資格取得やキャリアアップを目指す社会人の学び直しプログラムを提供

◇ 高い就職率と多彩な進路先

- ■卒業生の約82%が就職を希望し、そのうち約98%が就職を決定している
- ■6割以上の学生が国家資格・免許を有する専門職者として、幅広い分野で活躍
- ■一般企業への就職も多く、事務職や営業職等、多彩な職種に就いている



《 専門的•技術的職業従事者 》

幼稚園教諭、小学校教諭、中学校教諭、司書、保育士、栄養士、調理師、 製菓衛生師、看護師、美容師、 介護福祉士、歯科衛生士、歯科技工士、 臨床検査技師、理学療法士、 診療放射線技師、自動車整備士等

■専攻科進学や四年制大学編入、海外への留学で上位資格取得や学びの発展へ

◇ 公的支援の必要性

- ■広く高等教育の機会を提供し、地域社会に貢献
- ■生涯学習やリカレント教育の高まりへの対応
- ■地域における人材育成
- ■女性の活躍推進
- ■特色を活かした教育の維持向上
- ■小規模校が多く、財政的に厳しい環境

私学助成等の 公的支援の充実が

不可欠

日本私立短期大学協会



[令和5年4月1日現在]

●会員短期大学数 280校

○支部別短期大学数

北	海道	. 支	部		12校
東	北	支	部		22校
関	東	支	部	(関東私立短期大学協会)	52校
東	京	支	部	(東京都私立短期大学協会)	32校
中	部	支	部	(中部地区私立短期大学協会)	48校
近	畿	支	部	(近 畿 私 立 短 期 大 学 連 合 会)	31校
大	阪	支	部	(大阪私立短期大学協会)	21校
中	国•匹	国支	部	(中国・四国地区私立短期大学協会)	27校
九	州	支	部	(九州地区私立短期大学協会)	35校

<創立 昭和25年 4月10日>

当初私立短期大学数

	1021	
	13,076名	学生数
(63%)	8,282名	男
(37%)	4.794名	女

<令和5年5月1日>

		〈令和5年5月1日〉
	288 校	私立短期大学数
	81,499【78,545】名	学生数
(12.5% [12.4%])	10,224【 9,709】名	男
(87.5% [87.6%])	71,275【68,836】名	女

132校

- ・当初私立短期大学数、学生数は、「日本の教育統計―新教育の歩み―」文部省(当時)
- ・令和5年5月1日現在の私立短期大学数、学生数は、文部科学省の「学校基本調査」。 【 】は、本科学生数。

北海道支部 12校

带広大谷短期大学 釧路短期大学 光塩学園女子短期大学 國學院大學北海道短期大学部 札幌大谷大学短期大学部 札幌国際大学短期大学部 拓殖大学北海道短期大学 函館大谷短期大学 函館短期大学 北翔大学短期大学部 北星学園大学短期大学部 北海道武蔵女子短期大学



東北支部 22校

■青森(5校)

青森明の星短期大学 青森中央短期大学 柴田学園大学短期大学部 八戸学院大学短期大学部 弘前医療福祉大学短期大学部

■岩手(2校)

修 紅 短 期 大 学 盛岡大学短期大学部

■秋田(4校)

秋田栄養短期大学聖霊女子短期大学日本赤十字秋田短期大学聖園学園短期大学

■宮城(5校)

聖和学園短期大学仙台赤門短期大学仙台青葉学院短期大学東北生活文化大学短期大学家城 真短期大学

■山形(2校)

羽陽学園短期大学 東北文教大学短期大学部

■福島(4校)

中国·四国支部

いわき短期大学 郡山女子大学短期大学部 桜の聖母短期大学 福島学院大学短期大学部



関東支部 52校

■千葉 (8校)

植草学園短期大学園短期大学園短期大学短期大学短期大学短期大学短期大学部群大学短期大学部群大学短期大学部等系统营短期大学部等京经营短期大学等

■埼玉 (11校)

■新潟 (5校)

新潟工業短期大学新潟青陵大学短期大学部新潟中央短期大学日本歯科大学新潟短期大学明 偏短期大学

■神奈川(11校)

■山梨(2校)

帝京学園短期大学山梨学院短期大学

■茨城(3校)

中国·四国支部

茨城女子短期大学 つくば国際短期大学 常 磐 短 期 大 学

育 英 短 期 大 学 共愛学園前橋国際大学短期大学部 桐 生 大 学 短 期 大 学 部 群馬医療福祉大学短期大学部 高崎商科大学短期大学部 東京福祉大学短期大学部 新 島 学 園 短 期 大 学



北海道支部

東北支部

関東支部

分

中部支部

近畿支部

東京支部 32校

愛国学園短期大学 有明教育芸術短期大学 上野学園大学短期大学部 大妻女子大学短期大学部 共立女子短期大学 国際短期大学 駒沢女子短期大学 実践女子大学短期大学部 淑徳大学短期大学部 女子栄養大学短期大学部 女子美術大学短期大学部 白梅学園短期大学 星美学園短期大学 創価女子短期大学 帝京大学短期大学 帝京短期大学 貞静学園短期大学 戸板女子短期大学 東京家政大学短期大学部 東京交通短期大学 東京歯科大学短期大学 東京女子体育短期大学 東京成徳短期大学 東京立正短期大学 北海道支部 東邦音楽短期大学 桐朋学園芸術短期大学 新渡戸文化短期大学 日本歯科大学東京短期大学 日本大学短期大学部 フェリシアこども短期大学 目白大学短期大学部 山野美容芸術短期大学 東北支部 関東支部 中部支部 近畿支部 中国·四国支部

中部支部 48校

■愛知(18校)

愛知医療学院短期大学 愛知学院大学短期大学部 愛知学泉短期大学 愛知工科大学自動車短期大学 愛知産業大学短期大学 愛知大学短期大学部 愛知文教女子短期大学 愛知みずほ短期大学 岡崎女子短期大学 至学館大学短期大学部 修文大学短期大学部 豊橋創造大学短期大学部 名古屋経営短期大学 名古屋女子大学短期大学部 名古屋短期大学 名古屋文化短期大学 名古屋文理大学短期大学部 名古屋柳城短期大学

■静岡 (3 校)

静岡英和学院大学短期大学部常葉大学短期大学部 浜松学院大学短期大学部

■長野 (8 校)

飯 田 短 期 大 学
上 田 女 子 短 期 大 学
佐久大学信州短期大学部
信 州 豊 南 短 期 大 学
京 泉 女 学 院 短 期 大 学
長 野 女 子 短 期 大 学
松本大学松商短期大学部
松 本 短 期 大 学

■岐阜 (9 校)

中国·四国支部

大垣 女子短期大学 岐阜聖徳学園大学短期大学部正 眼短期 大学高山自動車短期大学 中京学院大学短期大学部中部学院大学短期大学部中部学院大学短期大学部中日本自動車短期大学 平成 医療短期大学

近畿支部

■三重 (3校)

北海道支部

東北支部

関東支部

鈴鹿大学短期大学部 高 田 短 期 大 学 ユマニテク短期大学

■福井(1校)

仁愛女子短期大学

■富山(2校)

富山短期大学富山福祉短期大学

近畿支部 31校

■滋賀(3校)

滋賀短期大学 滋賀文教短期大学 びわこ学院大学短期大学部

■京都(9校)

池坊短期大学 華頂短期大学 京都外国語短期大学 京都経済短期大学 京都光華女子大学短期大学部 京都西山短期大学 京都文教短期大学 嵯峨美術短期大学 龍谷大学短期大学部

■兵庫(15校)

大手前短期大学 甲子園短期大学 神戸教育短期大学 神戸女子短期大学 神戸常盤大学短期大学部 産業技術短期大学 頌 栄 短 期 大 学 聖 和 短 期 大 学 園田学園女子大学短期大学部 東洋食品工業短期大学 豊 岡 短 期 大 学 姫路日ノ本短期大学 兵庫大学短期大学部 湊川短期大学 武庫川女子大学短期大学部

北海道支部 東北支部 関東支部 中部支部 ■奈良(3校)

奈良芸術短期大学 奈良佐保短期大学 大和大学白鳳短期大学部

■和歌山(1校)

和歌山信愛女子短期大学

中国·四国支部

大阪支部 21校

藍野大学短期大学部 大阪音楽大学短期大学部 大阪学院大学短期大学部 大阪キリスト教短期大学 大阪芸術大学短期大学部 大阪健康福祉短期大学 大阪国際大学短期大学部 大阪城南女子短期大学 大阪女学院短期大学 大阪信愛学院短期大学 大阪成蹊短期大学 大阪千代田短期大学 大阪夕陽丘学園短期大学 関西外国語大学短期大学部 関西女子短期大学 近畿大学短期大学部 堺女子短期大学 四條畷学園短期大学 四天王寺大学短期大学部 北海道支部 常磐会短期大学 東大阪大学短期大学部 東北支部 関東支部 中部支部 近畿支部 中国·四国支部

中国·四国支部 27校

■鳥取(1校)

鳥取短期大学

■岡山(7校)

■広島(4校)

山陽女子短期大学 比治山大学短期大学部 広島文化学園短期大学 安田女子短期大学

■山口(5校)

岩 国 短 期 大 学 宇部フロンティア大学短期大学部 下 関 短 期 大 学 山口芸術短期大学 山口 短 期 大 学



四国大学短期大学部 徳島工業短期大学 徳島文理大学短期大学部

■香川(2校)

香川短期大学高松短期大学

今治明徳短期大学 聖カタリナ大学短期大学部 松山東雲短期大学 松山短期大学

■高知(1校)

高知学園短期大学

九州支部 35校

■福岡(17校)

折尾愛真短期大学 九州大谷短期大学 九州産業大学造形短期大学部 九州女子短期大学 近畿大学九州短期大学 香蘭女子短期大学 純真短期大学 精華女子短期大学 西南女学院大学短期大学部 中村学園大学短期大学部 西日本短期大学 東筑紫短期大学 福岡医療短期大学 福岡工業大学短期大学部 福岡こども短期大学 福岡女学院大学短期大学部 福岡女子短期大学

■佐賀(3校)

九州龍谷短期大学佐賀女子短期大学西九州大学短期大学部

■長崎(2校)

長崎女子短期大学長 崎 短 期 大 学

■熊本(2校)

尚絅大学短期大学部中 九 州 短 期 大 学

■大分(4校)

中国·四国支部

大分短期大学東九州短期大学別府大学短期大学部別府溝部学園短期大学

近畿支部

■宮崎(2校)

南九州大学短期大学部

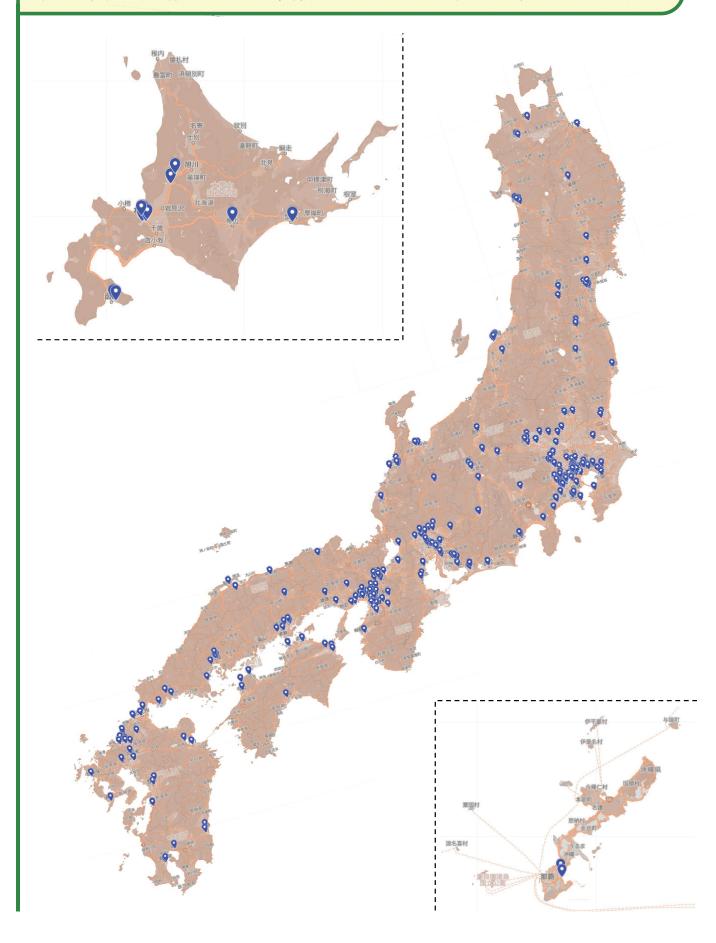
北海道支部 東北支部 関東支部 中部支部 ■鹿児島(3校)

鹿児島純心女子短期大学 鹿児島女子短期大学 第一幼児教育短期大学

■沖縄(2校)

沖縄キリスト教短期大学 沖縄女子短期大学

◇ 日本私立短期大学協会会員校 キャンパス所在地分布図



編集後記

ご関係の皆様方のご尽力により本誌 79 号が発刊できましたことを厚く御礼申し上げます。

高等教育機関を取り巻く環境の変化は目覚ましく、18歳人口の減少の加速はいうまでもなく、また新たに少子化対策の一環として、3人以上の子持ち世帯への高等教育無償化案が政府から提出されています。この政策が実施された場合の短期大学への影響は大きくなることが予想されます。

さて、今回の号では、「地域と連携しともに歩む短期大学として」と題し、大阪芸術大学短期 大学部学長の塚本英邦先生より、地域連携活動の例を挙げていただいた巻頭言を頂戴し、それに 続けて、論稿、調査のご報告、卒業生インタビューという内容になっております。

論稿では、「地域で活躍する帯広大谷短期大学学生・卒業生の現状」と題し、帯広大谷短期大学学長の田中厚一先生から、同短期大学の現状および学生や卒業生が地域でどのようにご活躍されているかを寄稿いただいております。地域と密接に連携して活躍されており、「短期大学に集っている学生たちは地域の宝だ」という、短期大学教育に携わっている者にとって嬉しいお言葉をいただいております。

調査のご報告は、「『私立短大卒業生の卒業後の状況調査』からみる短期大学のキャリア支援と 進路支援」および「令和4年度全国学生調査(第3回試行実施)の結果について」の2報告となっ ており、それぞれ、就職問題委員会委員長の群馬医療福祉大学短期大学部理事長・学長の鈴木利定 先生、同副委員長の青森中央短期大学キャリア支援課の柿崎雅美課長および文部科学省高等教育 局高等教育企画課からご報告をいただきました。

「『私立短大卒業生の卒業後の状況調査』からみる短期大学のキャリア支援と進路支援」では、詳細なご報告をいただきました。令和4年度の私立短期大学卒業生の就職決定率は97.6%で、前年度調査比で0.4ポイント増となり、コロナ禍前の状態に回復しつつあります。全国の卒業者数の中で、就職希望者に対する就職決定者の割合はすべての地域において90%を超えております。地域別自県内就職率は北海道をはじめとして四国や九州など高い傾向を示しており、大都市圏で県外からの流入が多い地域においても60%以上となっていました。ご報告の最後にある「短期大学にとって地域で活躍する卒業生は学生のキャリア支援や就職支援に不可欠な存在である」というお言葉には深く頷かされます。

「令和4年度 全国学生調査(第3回試行実施)の結果について」では、短期大学は大学と比較して「教職員と学生の距離が近くきめの細かい教育に取り組んでいる」「短期大学による学生支援等の有用性を高く評価する回答が多い」「職業教育の成果が評価されている」「短期大学の学生は、自らの成長や身に付けた知識・技能について、より肯定的に評価している」などの結果となっておりました。これらは、まさに短期大学教育の特長が表れているものと思われます。「全国学生調査」の結果やその分析を今後とも教学の質の向上に繋げていけたらと思います。

卒業生インタビューでは、地元あるいはその近辺で働いている方々が多く、また短期大学で学

んだことが就職後の仕事に役立っているという意見が多く寄せられており、地域社会に貢献する 短期大学の存在を示すものとなっていました。

令和4年度の統計や調査の数字では、18歳人口は約112万人、大学進学率は56.6%、短期大学進学率は3.7%ですが、短期大学の自県内進学率は70.1%となっており、これは短期大学が地域に根差した教育機関であることを示しているものと思われます。ご報告のとおり、私立短期大学卒業生の就職率は令和4年度において前年度に比べて0.4ポイント上昇して全体的に安定しており、卒業生の81.6%が就職を希望し、そのうち97.6%が就職を決定しています。6割以上の学生が国家資格・免許を有する専門職者として幅広い分野で活躍し、卒業生の就職先については、地元企業の多いことが特徴となっております。

今回の号では、短期大学卒業生の就職状況や地域での活躍について確認することができ、地域 社会に不可欠な人材の輩出、地域社会の進学機会の確保など短期大学としての役割について、改 めて認識する機会になったものと思います。

今後とも、皆様方のご指導とご協力をお願い申し上げまして編集後記の御礼の言葉といたします。

日本私立短期大学協会 広報委員会委員長 (大手前短期大学 副理事長・学長)

福井洋子

短期大学教育 第79号

印刷年月日/令和6年3月25日

発行年月日/令和6年3月25日

発 行 人/日本私立短期大学協会 会長 関口 修

広報委員会/委員長 福井洋子

発 行 所/日本私立短期大学協会

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-25 私学会館別館内

電話 03 (3261) 9055

FAX 03 (3263) 6950

協会 URL https://tandai.or.jp

短大クエスチョン URL https://tandai.jp

印 刷 所/株式会社マツヤマクリエーション

埼玉県ふじみ野市苗間 558-10

電話·FAX 049 (263) 0075

(非売品)





短大クエスチョン



